

1. 沿革

明治 35 年	松波医院開設
明治 44 年	加納町病院として再開設
昭和 8 年	松波外科医院開設
昭和 22 年	松波病院 (20 床) 開設 [医院廃止]
昭和 32 年	医療法人蘇西厚生会設立
昭和 52 年	CT 装置導入 (国内 3 番目)
昭和 54 年	松波病院病床数増床 (250 床)
昭和 57 年 4 月 1 日	託児所エンゼル開設
昭和 63 年 2 月 1 日	松波総合病院 (437 床) 新築移転・開設
	コンピューターによるオーダーリングシステム開始
	MRI (1.5 テスラ) 導入 (東海地区初)
	松波病院 (250 床) 廃止
	松波総合病院老人保健施設 (146 床) 開設
	松波総合病院附属診療所 (19 床) 開設
平成 4 年 1 月 1 日	笠松町在宅介護支援センターまつなみ受託
平成 6 年 4 月 1 日	臨床研修病院指定
平成 7 年	体外受精成功 (県内初)
平成 7 年 12 月 1 日	日本内科学会認定医制度教育病院指定
平成 8 年 12 月 19 日	日本医療機能評価機構 病院機能評価試行受審
平成 9 年 11 月 28 日	生体部分肝移植手術成功 (国内の民間病院初)
平成 10 年 4 月 1 日	心臓血管外科開設
平成 10 年 9 月 1 日	まつなみ訪問看護ステーション開設
	生体部分肝移植手術 (施設基準) 取得
平成 10 年 11 月 1 日	開放型病院 (施設基準) 取得
平成 11 年 6 月 1 日	神経内科開設
平成 11 年 7 月 1 日	ペインクリニック外来開設
平成 12 年 1 月 1 日	松波総合病院患者家族宿泊施設新設 (定員 4 部屋 8 名)
平成 12 年 4 月 1 日	居宅介護支援事業所まつなみ開設
平成 12 年 10 月 1 日	形成外科開設
平成 12 年 12 月 31 日	夜間一般外来廃止
平成 14 年 2 月 1 日	院外処方箋発行開始
平成 14 年 6 月 6 日	一般病床 (436 床) として届出
平成 14 年 6 月 30 日	精神科廃止
平成 14 年 7 月 31 日	松波総合病院附属診療所廃止
	松波総合病院附属診療所通所リハビリテーション廃止
平成 14 年 8 月 1 日	まつなみ健康増進クリニック (診療センター、人間ドック・健診センター、人工透析センター) 開設
平成 14 年 10 月 1 日	16 列型マルチスライス CT 装置導入 (国内 2 番目)
平成 14 年 11 月 1 日	松波総合病院居宅介護支援事業所開設
平成 15 年 1 月 1 日	回復期リハビリテーション病棟 (3 階病棟、55 床) 開設
平成 15 年 7 月 15 日	禁煙宣言病院 (敷地内・建物内完全禁煙 含クリニック)、禁煙外来開設

平成 16 年 1 月 26 日	日本医療機能評価機構 病院機能評価 Ver.4 認定
平成 16 年 4 月 1 日	脳下垂体外科専門外来開設 新医師臨床研修病院指定
平成 16 年 6 月 2 日	女性外来開設
平成 16 年 10 月 1 日	呼吸器内科開設
平成 16 年 11 月 1 日	不妊・遺伝相談外来開設
平成 17 年 1 月 17 日	まつなみ在宅総合ケアセンター開設 まつなみ訪問介護ステーション開設
平成 17 年 2 月 1 日	救急救命集中治療センター開設
平成 17 年 10 月 29 日	人間ドック・健診施設機能評価認定
平成 18 年 4 月 1 日	DPC（診断群分類別定額支払い方式）対象病院認可
平成 19 年 3 月 22 日	特定医療法人承認
平成 19 年 6 月 1 日	託児所エンゼル新築移転
平成 19 年 9 月 22 日	肩・スポーツ外来開設
平成 19 年 12 月 1 日	集中治療室（ICU）開設 病床数減（434 床）
平成 20 年 2 月 1 日	重症心疾患患者集中治療室（CCU）開設 病床数減（432 床）
平成 20 年 3 月 31 日	口腔外科廃止
平成 20 年 4 月 1 日	卒後臨床研修評価機構認定病院認定
平成 20 年 10 月 1 日	社会医療法人認定 法人管理センター新築移転
平成 21 年 1 月 1 日	放射線治療装置導入（放射線治療再開）
平成 21 年 1 月 26 日	日本医療機能評価機構 病院機能評価 Ver.5 認定
平成 22 年 2 月 1 日	ストーマ外来・女性肛門外来開設
平成 22 年 3 月 1 日	320 列マルチスライス CT 装置導入（県内 2 番目）
平成 22 年 12 月 4 日	外国人看護師候補者 2 名受入（インドネシア：女性 2 名）
平成 22 年 12 月 12 日	内視鏡手術支援ロボット「ダヴィンチ導入」（国内 3 番目）
平成 23 年 2 月 25 日	ドトールコーヒESHOP 松波総合病院店開店
平成 23 年 3 月 30 日	国土交通省短期入院協力病院指定
平成 23 年 4 月 20 日	次世代育成対策支援法第 13 条に基づき基準適合一般事業主認定
平成 23 年 6 月 1 日	松波総合病院クリニカルインディケーター（医療の質の指標）公開
平成 23 年 8 月 22 日	岐阜 DMAT 指定病院指定
平成 23 年 10 月 26 日	災害拠点病院（地域災害医療センター）指定
平成 24 年 1 月 6 日	外国人看護師候補者 2 名受入（インドネシア：男性 1 名、女性 1 名）
平成 24 年 4 月 26 日	松波総合病院クリニカルインディケーター（医療の質の指標）更新
平成 24 年 6 月 1 日	地域医療介護連携センター設置
平成 24 年 7 月 24 日	体外衝撃波疼痛治療装置「ドルニエ Epos Ultra」導入
平成 24 年 8 月 31 日	地域医療支援病院に承認
平成 25 年 2 月 2 日	内視鏡手術支援ロボット「ダヴィンチ Si」導入（国内 2 番目、国内 2 例目、岐 阜県下 1 例目） ※「ダヴィンチ S」からのバージョンアップ
平成 25 年 7 月 4 日	手術支援ロボット「ダヴィンチ Si」を使用した肝臓切除術県内初成功
平成 25 年 7 月 31 日	松波総合病院クリニカルインディケーター（医療の質の指標）更新
平成 25 年 9 月 1 日	まつなみリサーチパーク設立
平成 25 年 10 月 17 日・18 日	日本病院機能評価機構 病院機能評価（3rdG：Ver.1.0）受審
平成 25 年 11 月 1 日	松波総合病院障害者短期入所事業所開設

平成 26 年 1 月 1 日	電子カルテシステムの導入
平成 26 年 1 月 6 日	日本病院機能評価機構 病院機能評価 (3rdG: Ver.1.0) 「一般病院 2 (200 床以上 500 床未満) (主たる機能)」「リハビリテーション病院 (副機能)」認定
平成 26 年 1 月 30 日	手術支援ロボット「ダヴィンチ Si」を使用した子宮全摘出手術院内第 1 例目実施
平成 26 年 2 月 19 日	特定非営利活動法人卒後臨床研修評価機構による臨床研修評価受審
平成 26 年 3 月 25 日	外国人看護師候補者 1 名 看護師国家試験合格 (インドネシア: 女性 1 名)
平成 26 年 7 月 22 日	松波総合病院北館 (NORTH WING) 新築開設 (許可病床数 445 床・稼働病床数 432 床) 北館内にハイブリッド手術室を完備 MRI(3.0 テスラ) 導入 (サイレントスキャン県内 1 番目)
平成 26 年 7 月 29 日	ドクターヘリでの救急搬送第 1 号
平成 26 年 9 月 1 日	HCU 開設 (20 床) 地域包括ケア病棟開設 (55 床)
平成 26 年 12 月 18 日	学校法人朝日大学との教育、研究、医療活動に関する包括的連携協定の締結
平成 27 年 4 月 1 日	松波総合病院南館 (SOUTH WING) 改修に伴い、病床数増床 (501 床)
平成 27 年 4 月 28 日	学校法人聖徳学園との包括的な連携協定を締結
平成 27 年 5 月 1 日	障害者病棟を開設 (59 床)
平成 27 年 6 月 16 日	仕事と子育ての両立支援に積極的に取り組む企業として 2015 年度岐阜県で第 1 号くるみんマーク取得 (4 度目の認定)
平成 27 年 7 月 1 日	岐阜県子育て支援企業に登録
平成 27 年 8 月 1 日	ブライダルチェック外来開設
平成 27 年 8 月 21 日	まつなみリサーチパーク「在宅医療支援システム」特許取得
平成 27 年 9 月 7 日	まつなみリサーチパーク 科学研究費助成金取扱規程第 2 条第 8 項に規程する研究機関に指定 (県内初)
平成 27 年 10 月 30 日	まつなみリサーチパーク「採血・検査一体型デバイス」特許取得
平成 27 年 11 月 11 日・12 日・13 日	第 26 回 VHJ (Voluntary Hospitals of Japan) 研究会職員交流会主催
平成 27 年 12 月 22 日	学校法人神野学園 岐阜医療科学大学との連携包括協定の締結
平成 28 年 1 月 19 日	ヒト型ロボット「Pepper (ペッパー)」を導入
平成 28 年 3 月 18 日	まつなみリサーチパーク「消化管デバイス」特許取得
平成 28 年 4 月 12 日	「夜尿症外来」をまつなみ健康増進クリニックに開設
平成 28 年 5 月 15 日	熊本地震の被災地医療支援のために災害派遣医療チーム (DMAT) を派遣
平成 28 年 7 月	「非接触・無拘束ベッド見守りシステム」を介護老人保健施設に導入
平成 28 年 9 月 6 日	DMAT 本部機能認定
平成 29 年 2 月 23 日	岐阜県子育て支援エクセレント企業に認定
平成 29 年 3 月 29 日	育児ほほえみ相談事業委託契約締結
平成 29 年 4 月 1 日	東京大学医学部附属病院 22 世紀医療センターの社会連携講座「肥満メタボリックケア」において、東京大学、社会医療法人河北医療財団、ライザップ株式会社との共同研究 (肥満やサルコペニアに関して) を開始
平成 29 年 4 月 3 日	英語版・中国語版ホームページを開設
平成 29 年 10 月 1 日	救急科 (救急総合診療科) を新設
平成 29 年 10 月 3 日	羽島郡広域連合消防本部と共同で病院派遣型の救急ワークステーションの運用を開始
平成 29 年 11 月 1 日	発達障害外来を開設
平成 29 年 11 月 19 日	「輸血機能評価認定施設 (I&A 制度認定施設)」岐阜県内民間病院第一号認定
平成 30 年 3 月 13 日	JMIP (外国人患者受入れ医療機関認定制度) に認定 (県内 2 番目)
平成 30 年 4 月 1 日	卒後臨床研修評価機構 (JCEP) よりエクセレント賞を受賞

平成 30 年 9 月 1 日	無菌治療室（クリーンルーム）を設置
平成 31 年 1 月 30 日	「岐阜医療圏地域コンソーシアム」協定締結
平成 31 年 2 月 21 日	「健康経営優良法人ホワイト 500」に認定
平成 31 年 3 月 1 日	日本病院機能評価機構 病院機能評価 (3rdG:Ver.2.0) 一般病院 2(200 床以上 500 床未満)(主たる機能)「リハビリテーション病院(副機能)」認定
平成 31 年 4 月 27 日	日本感染管理ベストプラクティス "Saizen" 研究会 最優秀ベストプラクティス賞受賞
令和 元年 8 月 5 日	レストラン「然の膳 松波総合病院店」開店
令和 元年 9 月 9 日	松波総合病院立体駐車場完成
令和 元年 9 月 16 日	台風 15 号の被災地支援に全日本病院医療支援班 (AMAT) を千葉県に派遣
令和 元年 10 月 1 日	松波総合病院ノースウィング増築完成
令和 元年 10 月 1 日	リンパ浮腫外来嚙下外来開設
令和 2 年 1 月 11 日	まつなみ医療職体験会 2020 を開催
令和 2 年 2 月 26 日	「特定行為研修指定研修機関」に指定
令和 2 年 3 月 2 日	「健康経営優良法人」に認定
令和 2 年 3 月 26 日	自院救急車を新規購入
令和 2 年 4 月 1 日	松波総合病院柔道部創部
令和 2 年 4 月 1 日	松波総合病院メディカルコントロール協議会設立 地域救急搬送支援事業開始
令和 2 年 6 月 5 日	オンライン面会、面談システムの運用開始
令和 2 年 7 月 1 日	令和 2 年度献血推進功労者表彰
令和 2 年 11 月 11 日	Clariss Japan Excellence Award 2020 受賞
令和 2 年 11 月 25 日	岐阜県介護人材育成事業者認定制度 <ぎふ・いきいき介護事業者> G1 (グレード 1) 認定
令和 2 年 12 月 1 日	発熱外来ユニット「Gifu CUBE」運用開始
令和 3 年 3 月 22 日	電子カルテシステム更新
令和 3 年 4 月 1 日	こころの発達診療センター開設
令和 3 年 4 月 1 日	へき地医療拠点病院の指定
令和 3 年 6 月 16 日	「災害時等における一時的な避難場所としての施設提供及び使用に関する協定」を締結
令和 3 年 7 月 1 日	介護・在宅本部設置
令和 3 年 11 月 12 日	Clariss Japan Excellence Award 2021 受賞
令和 3 年 12 月 20 日	熱分解装置「NEO SONIC 2000M」を導入
令和 4 年 1 月 19 日	高周波式ハイパーサーミアシステム「アスクーフ 8」の導入
令和 4 年 4 月 28 日	令和 4 年度清流アスリート・パラスポーツ清流アスリート強化指定証交付
令和 4 年 5 月 13 日	入院中の Wi-Fi 接続サービスの提供開始
令和 4 年 6 月 1 日	松波総合病院東エクステンション棟完成
令和 4 年 6 月 8 日	FFRCT 検査の開始
令和 4 年 6 月 28 日	看護部棟完成
令和 4 年 10 月 5 日	経カテーテル的大動脈弁置換術 (TAVI) の初症例実施
令和 4 年 11 月 11 日・12 日	第 22 回クリニカルパス学会学術集会開催
令和 5 年 3 月 17 日	WORLD' S BEST HOSPITALS 2023 選出
令和 5 年 4 月 1 日	呼吸器センター開設
令和 5 年 4 月 1 日	放射線科廃止
	放射線診断科開設
	放射線治療科開設

令和 5年 4月 1日	緩和ケア外来開設
令和 5年 4月 12日	施設名称「まつなみ健康増進クリニック」から「東館」へ変更
令和 5年 9月 13日	生体検査システム「BioJet」の導入
令和 6年 1月 2日	能登半島地域へ災害支援活動の職員派遣を実施
令和 6年 2月 1日	女性専用外来開設
令和 6年 2月 19日	内視鏡手術支援ロボット「ダヴィンチ Xi」導入 ※「ダヴィンチ X」からのバージョンアップ

2. 現況

I 設備・機器概要

1. 診療主要装備

- ・ 超電導型全身用磁気共鳴コンピューター断層撮影装置 (MRI、1.5 テスラ)
- ・ 超電導型全身用磁気共鳴コンピューター断層撮影装置 (MRI、3.0 テスラ)
- ・ 16 列型マルチスライス CT 装置 Light Speed
- ・ 64 列型マルチスライス CT 装置
- ・ 256 列型マルチスライス CT 装置 Revolution
- ・ 心臓カテーテルエックス線撮影装置 (シネ・アンギオ) 2 基
- ・ 内視鏡手術支援ロボット ダヴィンチ Xi
- ・ 体外衝撃波疼痛治療装置「ドルニエ Epos Ultra」
- ・ 多軌道断層エックス線撮影装置
- ・ 泌尿器専用エックス線撮影装置
- ・ 骨密度エックス線測定装置
- ・ 乳房専用エックス線撮影装置
- ・ 歯科用パノラマエックス線撮影装置
- ・ ガンマカメラ・試料測定装置 (RI 検査室)
- ・ 血管造影撮影装置
- ・ 人工透析装置
- ・ 直線加速装置 (リニアック)
- ・ エックス線 TV 装置
- ・ 高周波式ハイパーサーミアシステム「アスクーフ 8」
- ・ 生体検査システム「BioJet」

2. 診療支援装備

- (1) コンピューターによるオーダーリングシステム
CPU：IBM RS-6000 (2 基)、AS-400 (1 基)
PC300PL 105 台、PC300GL 40 台、PC340 15 台-自動錠剤分包機にも連動
- (2) コージェネレーションシステム (都市ガス)
需要商用電源の一部補完、低コスト 24 時間空調、給湯
- (3) 三系統電源による無瞬断システム
手術等の場合の電源の緊急対応のセキュリティの確保

II 規模の概況

1. 総合病院

許可病床	501 床 (稼動病床 501 床)
構造規模	鉄骨鉄筋コンクリート造 地上 8 階 地下 1 階
(南館) 建築延面積	約 19,500 平方メートル
敷地面積	約 10,000 平方メートル

構造規模	鉄骨造 (S 造) 地上 7 階	ヘリポート
(北館) 建築延面積	約 18,800 平方メートル	
敷地面積	約 13,400 平方メートル	
構造規模	鉄筋コンクリート造	地上 3 階
(東館) 建築延面積	約 10,600 平方メートル	
敷地面積	約 13,400 平方メートル	

2. 関連事業所他

(1) 介護老人保健施設

- ・ 入所定員 146 床(内、ショートステイ 10 床)
- ・ 通所定員 40 人(通所リハビリテーション)
- ・ 南館 2～4 階

(2) まつなみ健康増進クリニック

- ・ 2 階 診療センター
内科、消化器内科、循環器内科、腎臓内科、移植外科
皮膚科、形成外科、乳腺外科、リウマチ科、メンタルケア科(精神科)
- ・ クリニック別館 小児科
- ・ 3 階 人間ドック・健診センター
- ・ 構造規模 鉄筋コンクリート造 地上 3 階 (2、3 階まつなみ健康増進クリニック)

(3) 人工透析センター (61 台)

- ・ 南館 1 階

(4) 松波総合病院介護老人保健施設 通所リハビリテーション

- ・ 南館 1 階

(5) まつなみケアプランセンター

(6) まつなみ訪問看護ステーション

(7) まつなみ訪問介護ステーション

(8) まつなみリサーチパーク

(9) その他の施設

- ・ 研修医宿舎 ルドン笠松 (11 室)
- ・ 看護師宿舎 ホワイトエンゼル笠松Mワンルームマンション 合計 2 棟 (88 室)
- ・ 託児所 エンゼル
- ・ その他 患者家族宿泊施設 4 室
熱分解装置「NEO SONIC 2000M」
- ・ 駐車場 外来患者様用約 536 台

(10) サービス施設（出店業者）

- ・ セブンイレブン
- ・ レストラン 然の膳

安田商事（株）

（株）フードテックジャパン

【松波総合病院】

施設基準等と診療報酬（基本診療科）

2024.3.31 現在

算定開始日	受理番号	施設基準名称
2022/04/01	(情報通信) 第 37 号	情報通信機器を用いた診療に係る基準
2022/10/01	(一般入院) 第 79 号	一般病棟入院基本料 (急性期一般入院料 1)
2018/04/01	(障害入院) 第 7 号	障害者施設等入院基本料 (10 対 1 入院基本料) ・注 9 加算：有り
2022/10/01	(総合 3) 第 6 号	総合入院体制加算 3
2020/04/01	(救急医療) 第 10 号	救急医療管理加算
2008/04/01	(超急性期) 第 7 号	超急性期脳卒中加算
2022/11/01	(診療録 1) 第 11 号	診療録管理体制加算 1
2022/04/01	(事補 1) 第 39 号	医師事務作業補助体制加算 1 (15 対 1 補助体制加算)
2022/11/01	(急性看補) 第 3 号	急性期看護補助体制加算 ・夜間看護体制加算：有り ・25 対 1 (看護補助者 5 割以上) ・夜間急性期看護補助体制加算 100 対 1
2015/05/01	(特施) 第 10 号	特殊疾患入院施設管理加算
2006/10/01	(療) 第 21 号	療養環境加算
2006/12/01	(重) 第 47 号	重症者等療養環境特別加算
2018/09/01	(無菌 1) 第 9 号	無菌治療室管理加算 1
2021/05/01	(無菌 2) 第 6 号	無菌治療室管理加算 2
2019/05/01	(緩和) 第 15 号	緩和ケア診療加算
2022/04/01	(栄養チ) 第 4 号	栄養サポートチーム加算
2018/04/01	(医療安全 1) 第 2 号	医療安全対策加算 1 ・医療安全対策地域連携加算 1
2022/04/01	(感染対策 1) 第 16 号	感染対策向上加算 1 ・指導強化加算
2012/04/01	(患サポ) 第 32 号	患者サポート体制充実加算
2022/04/01	(重症初期) 第 2 号	重症患者初期支援充実加算
2022/04/01	(報告管理) 第 3 号	報告書管理体制加算
2009/09/01	(褥瘡ケア) 第 10 号	褥瘡ハイリスク患者ケア加算
2008/04/01	(ハイ妊娠) 第 17 号	ハイリスク妊娠管理加算
2009/04/01	(ハイ分娩) 第 2 号	ハイリスク分娩管理加算
2022/04/01	(地域分娩) 第 1 号	地域連携分娩管理加算
2010/04/01	(呼吸チ) 第 2 号	呼吸ケアチーム加算
2022/12/01	(術後疼痛) 第 2 号	術後疼痛管理チーム加算
2015/09/01	(病棟薬 1) 第 22 号	病棟薬剤業務実施加算 1
2016/04/01	(病棟薬 2) 第 2 号	病棟薬剤業務実施加算 2
2014/04/01	(データ提) 第 12 号	データ提出加算
2022/04/01	(入退支) 第 12 号	入退院支援加算 1 ・入院時支援加算：有り ・地域連携診療計画加算：有り ・総合機能評価加算：有り
2017/06/01	(認知ケア 1) 第 30 号	認知症ケア加算 1
2020/05/01	(せん妄ケア) 第 26 号	せん妄ハイリスク患者ケア加算
2016/04/01	(精疾診) 第 4 号	精神疾患診療体制加算

2018/08/01	(排自支) 第 5 号	排尿自立支援加算
2022/10/01	(地医確保) 第 2 号	地域医療体制確保加算
2022/10/01	(集 1) 第 3 号	特定集中治療室管理料 1 ・早期離床・リハビリテーション加算：有り ・早期栄養介入管理加算：有り ・算定上限日数延長に係る施設基準：有り
2022/04/01	(ハイケア 1) 第 7 号	ハイケアユニット入院医療管理料 1 ・早期離床・リハビリテーション加算：有り ・早期栄養介入管理加算：有り
2007/05/01	(小入 5) 第 10 号	小児入院医療管理料 5
2022/10/01	(回 1) 第 2 号	回復期リハビリテーション病棟入院料 1 ・体制強化加算 1：有り
2024/03/01	(地包ケア 2) 第 9 号	地域包括ケア病棟入院料 2 ・看護補助体制充実加算 1：有り ・看護職員配置加算 50 対 1：有り ・看護補助者配置加算 25 対 1：有り

施設基準等と診療報酬 (特掲診療科)

2024.3.31 現在

算定開始日	受理番号	施設基準名称
2022/10/01	(看処遇 45) 第 1 号	看護職員処遇改善評価料 45
2022/04/01	(がん専栄) 第 4 号	外来栄養食事指導料の注 3 加算
2015/02/01	(糖管) 第 43 号	糖尿病合併症管理料
2010/04/01	(がん疼) 第 33 号	がん性疼痛緩和指導管理料
2022/04/01	(がん指イ) 第 2 号	がん患者指導管理料イ
2014/04/01	(がん指ロ) 第 7 号	がん患者指導管理料ロ
2018/08/01	(がん指ハ) 第 21 号	がん患者指導管理料ハ
2022/08/01	(がん指ニ) 第 14 号	がん患者指導管理料ニ
2023/04/01	(外緩) 第 13 号	外来緩和ケア管理料
2016/04/01	(糖防管) 第 28 号	糖尿病透析予防指導管理料
2021/09/01	(小運指管) 第 39 号	小児運動器疾患指導管理料
2018/04/01	(乳腺ケア) 第 3 号	乳腺炎重症化予防・ケア指導料
2020/04/01	(婦特管) 第 23 号	婦人科特定疾患治療管理料
2022/04/01	(一妊管) 第 10 号	一般不妊治療管理料
2022/04/01	(生補管 1) 第 3 号	生殖補助医療管理料 1
2022/12/01	(二骨管 1) 第 31 号	二次性骨折予防継続管理料 1
2023/04/01	(二骨継 2) 第 29 号	二次性骨折予防継続管理料 2
2022/12/01	(二骨継 3) 第 83 号	二次性骨折予防継続管理料 3
2022/09/01	(下創管) 第 9 号	下肢創傷処置管理料
2012/04/01	(トリ) 第 12 号	院内トリアージ実施料
2020/04/01	(救搬看体) 第 2 号	夜間休日救急搬送医学管理料の注 3 に掲げる「救急搬送看護体制加算 1」
2012/04/01	(放射診) 第 5 号	外来放射線照射診療料
2022/04/01	(外化診 1) 第 9 号	外来腫瘍化学療法診療料 1
2022/04/01	(外化連) 第 25 号	連携充実加算
2023/11/01	(両立支援) 第 11 号	療養・就労両立支援指導料の注 3 に規定する相談支援加算
1998/11/01	(開) 第 7 号	開放型病院共同指導料
2010/04/01	(ハイ I) 第 12 号	ハイリスク妊産婦共同管理料 (I)

2013/04/01	(がん指) 第 464 号	がん治療連携指導料
2020/04/01	(外排自) 第 5 号	外来排尿自立指導料
2010/04/01	(肝炎) 第 13 号	肝炎インターフェロン治療計画料
2022/04/01	(こ連指Ⅱ) 第 10 号	こころの連携指導料(Ⅱ)
2010/05/01	(薬) 第 4 号	薬剤管理指導料
2016/07/01	(電情) 第 26 号	検査・画像情報提供加算及び電子的診療
2008/04/01	(機安 1) 第 33 号	医療機器安全管理料 1
2023/05/01	(機安 2) 第 15 号	医療機器安全管理料 2
2012/05/01	(在看) 第 5 号	在宅患者訪問看護・指導料及び同一建物居住者訪問看護・指導料
2015/09/01	(在後病) 第 9 号	在宅療養後方支援病院
2024/03/01	(在電場) 第 7 号	在宅腫瘍治療電場療法指導管理料
2016/08/01	(持血測 1) 第 16 号	持続血糖測定器加算 皮下連続式グルコース測定
2020/06/01	(持血測 2) 第 6 号	持続血糖測定器加算(間歇注入シリンジポンプと連動しない持続血糖測定器を用いる場合)
2016/04/01	(遺伝検) 第 3 号	遺伝学的検査
2022/07/01	(BRCA) 第 23 号	BRCA1/2 遺伝子検査
2010/04/01	(HPV) 第 36 号	HPV 核酸検出及び HPV 核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)
2019/01/01	(検Ⅳ) 第 22 号	検体検査管理加算(4)
2023/08/01	(遺伝カ) 第 12 号	遺伝カウンセリング加算
2010/04/01	(血内) 第 13 号	心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算
2012/04/01	(歩行) 第 5 号	時間内歩行試験及びシャトルウォーキングテスト
2012/04/01	(ヘッド) 第 1 号	ヘッドアップティルト試験
2010/04/01	(長) 第 8 号	長期継続頭蓋内脳波検査
2008/04/01	(神経) 第 17 号	神経学的検査
2016/05/01	(コン 1) 第 222 号	コンタクトレンズ検査料 1
2006/04/01	(小検) 第 2 号	小児食物アレルギー負荷検査
2023/10/01	(前立腺) 第 5 号	前立腺針生検法(MRI 撮影及び超音波検査融合画像によるもの)
2020/04/01	(経気凍) 第 1 号	経気管支凍結生検法
2008/04/01	(画 2) 第 8 号	画像診断管理加算 2
2008/06/01	(ポ断) 第 14 号	ポジトロン断層撮影
2012/04/01	(C・M) 第 226 号	CT 撮影及び MRI 撮影(16 列 CT)
2012/04/01	(C・M) 第 228 号	CT 撮影及び MRI 撮影(1.5 テスラ MRI)
2014/07/01	(C・M) 第 433 号	CT 撮影及び MRI 撮影(64 列 OptimaCT600)
2017/04/01	(C・M) 第 471 号	CT 撮影及び MRI 撮影(3 テスラ MRI)
2020/12/01	(C・M) 第 563 号	CT 撮影及び MRI 撮影(64 列 OptimaCT660)
2022/12/01	(C・M) 第 608 号	CT 撮影及び MRI 撮影(270 列 CT)
2010/03/01	(冠動 C) 第 13 号	冠動脈 CT 撮影加算
2022/04/01	(血予備断) 第 2 号	血流予備量比コンピューター断層撮影
2014/07/01	(心臓 M) 第 17 号	心臓 MRI 撮影加算
2023/02/01	(乳房 M) 第 9 号	乳房 MRI 撮影加算
2021/07/01	(頭部 M) 第 3 号	頭部 MRI 撮影加算
2020/05/01	(全身 M) 第 2 号	全身 MRI 撮影加算
2010/04/01	(抗癌処方) 第 6 号	抗癌性腫瘍剤処方管理加算

2008/04/01	(外化1) 第34号	外来化学療法加算1
2008/04/01	(菌) 第58号	無菌製剤処理料
2019/08/01	(心I) 第33号	心大血管疾患リハビリテーション料(1) ・初期加算：有り
2012/04/01	(脳I) 第12号	脳血管疾患等リハビリテーション料(1)及び廃用症候群リハビリテーション料(1) ・初期加算：有り
2012/04/01	(運I) 第12号	運動器リハビリテーション料(1) ・初期加算：有り
2012/04/01	(呼I) 第23号	呼吸器リハビリテーション料(1) ・初期加算：有り
2010/09/01	(がんリハ) 第1号	がん患者リハビリテーション料
2018/04/01	(集コ) 第24号	集団コミュニケーション療法料
2020/04/01	(静圧) 第1号	静脈圧迫処置(慢性静脈不全に対するもの)
2010/04/01	(エタ甲) 第8号	エタノールの局所注入(甲状腺)
2010/04/01	(エタ副甲) 第5号	エタノールの局所注入(副甲状腺)
2018/04/01	(人工腎臓) 第15号	人工腎臓
2018/04/01	(導入1) 第11号	導入期加算1
2014/03/01	(透析水) 第38号	透析液水質確保加算及び慢性維持透析濾過加算
2016/04/01	(肢梢) 第13号	下肢末梢動脈疾患指導管理加算
2017/07/01	(組再乳) 第2号	組織拡張器による再建手術(乳房(再建手術)の場合に限る。)
2022/12/01	(緊整固) 第13号	緊急整復固定加算及び緊急挿入加算
2018/04/01	(後縦骨) 第1号	後縦靭帯骨化症手術(前方進入によるもの)
2020/04/01	(椎醇注) 第1号	椎間板内酵素注入療法
2002/09/01	(脳刺) 第7号	脳刺激装置植込術(頭蓋内電極植込術を含む。)及び脳刺激装置交換術
2002/09/01	(脊刺) 第5号	脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術
2022/04/01	(癒脊膜) 第1号	癒着性脊髄くも膜炎手術(脊髄くも膜剥離操作を行うもの)
2022/09/01	(仙神交便) 第4号	仙骨神経刺激装置植込術及び仙骨神経刺激装置交換術(便失禁)
2022/09/01	(仙神交膀) 第2号	仙骨神経刺激装置植込術及び仙骨神経刺激装置交換術(過活動膀胱)
2022/07/01	(緑内眼ド) 第19号	緑内障手術(流出路再建術(眼内法)及び水晶体再建術併用眼内ドレーン挿入術)
2022/07/01	(緑内ne) 第6号	緑内障手術(濾過法再建術(needle法))
2018/11/01	(内下) 第4号	内視鏡下甲状腺部分切除、腺腫摘出術
2010/04/01	(乳セ1) 第2号	乳がんセンチネルリンパ節加算1及びセンチネルリンパ節生検(併用)
2010/04/01	(乳セ2) 第3号	乳がんセンチネルリンパ節加算2及びセンチネルリンパ節生検(単独)
2016/10/01	(乳腫) 第4号	乳腺悪性腫瘍手術(乳輪温存乳房切除術(腋窩郭清を伴わないもの)及び乳輪温存乳房切除術(腋窩郭清を伴うもの))
2017/07/01	(ゲル乳再) 第2号	ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術(乳房切除後)
2023/12/01	(胸腔縦悪支) 第3号	胸腔鏡下縦隔悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
2023/12/01	(胸腔縦支) 第3号	胸腔鏡下良性縦隔腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
2023/04/01	(胸腔肺悪区) 第3号	胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(区域切除で内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
2016/04/01	(肺腫) 第1号	肺悪性腫瘍手術(壁側・臓側胸膜全切除(横隔膜、心膜合併切除を伴うもの)に限る。)
2023/04/01	(胸腔肺悪) 第3号	胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(肺葉切除又は1肺葉を超えるもので内視鏡手術用支援機器を用いる場合)

2023/05/01	(胸腔形成) 第 3 号	胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術 (気管支形成を伴う肺切除)
2018/04/01	(穿瘻閉) 第 1 号	食道縫合術 (穿孔、損傷) (内視鏡によるもの)、内視鏡下胃、十二指腸穿孔瘻孔閉鎖術、胃瘻閉鎖術 (内視鏡によるもの)、小腸瘻閉鎖術 (内視鏡によるもの)、結腸瘻閉鎖術 (内視鏡によるもの)、腎 (腎盂) 腸瘻閉鎖術 (内視鏡によるもの)、尿管腸瘻閉鎖術 (内視鏡によるもの)、膀胱腸瘻閉鎖術 (内視鏡によるもの)、腔腸瘻閉鎖術 (内視鏡によるもの)
2020/04/01	(経特) 第 14 号	経皮的冠動脈形成術 (特殊カテーテルによるもの)
2021/03/01	(胸腔弁形) 第 5 号	胸腔鏡下弁形成術
2021/03/01	(胸腔下置) 第 5 号	胸腔鏡下弁置換術
2022/09/01	(カ大弁置) 第 5 号	経カテーテル弁置換術 (経皮的動脈弁置換術)
2024/02/01	(不整胸腔) 第 4 号	不整脈手術 (左心耳閉鎖術 (胸腔鏡下によるもの)に限る。)
2010/04/01	(経中) 第 7 号	経皮的中隔心筋焼灼術
1998/04/01	(ペ) 第 13 号	ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術
2018/08/01	(ペリ) 第 9 号	ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術 (リードレスペースメーカー)
2014/05/01	(両ベ静) 第 10 号	両心室ペースメーカー移植術 (経静脈電極の場合) 及び両心室ペースメーカー交換術 (経静脈電極の場合)
2014/05/01	(除静) 第 12 号	植込型除細動器移植術 (経静脈リードを用いるもの又は皮下植込型リードを用いるもの)、植込型除細動器交換術 (その他のもの) 及び経静脈電極抜去術
2014/05/01	(両除静) 第 10 号	両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術 (経静脈電極の場合) 及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術 (経静脈電極の場合)
1998/04/01	(大) 第 9 号	大動脈バルーンパンピング法 (IABP 法)
2020/04/01	(経下肢動) 第 1 号	経皮の下肢動脈形成術
2022/04/01	(腹リ傍側) 第 3 号	腹腔鏡下リンパ節群郭清術 (側方)
2021/02/01	(腹胃切支) 第 5 号	腹腔鏡下胃切除術 (内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
2021/02/01	(腹側胃切支) 第 4 号	腹腔鏡下噴門側胃切除術 (内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
2021/02/01	(腹胃全) 第 4 号	腹腔鏡下胃全摘術 (内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
2019/02/01	(ハ経静脈) 第 5 号	バルーン閉塞下逆行性経静脈的塞栓術
2011/07/01	(腹肝) 第 4 号	腹腔鏡下肝切除術
1998/09/01	(生) 第 1 号	生体部分肝移植術
2012/04/01	(腹臍切) 第 2 号	腹腔鏡下臍体尾部腫瘍切除術
2023/04/01	(腹臍切支) 第 1 号	腹腔鏡下臍体尾部腫瘍切除術 (内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
2015/01/01	(早大腸) 第 13 号	早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術
2023/07/01	(腹結悪支) 第 3 号	腹腔鏡下結腸悪性腫瘍切除術 (内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
2022/04/01	(内小ポ) 第 2 号	内視鏡的小腸ポリープ切除術
2022/04/01	(腹直腸切支) 第 7 号	腹腔鏡下直腸切除・切断術 (切除術、低位前方切除術及び切断術に限る) (内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
2004/03/01	(腎) 第 18 号	体外衝撃波腎・尿管結石破碎術
2016/04/01	(腹腎尿支器) 第 2 号	腹腔鏡下腎悪性腫瘍手術 (内視鏡手術用支援機器を用いるもの) 及び腹腔鏡下尿管悪性腫瘍手術 (内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
2020/07/01	(膀胱ハ間) 第 8 号	膀胱水圧拡張術及びハンナ型間質性膀胱炎手術 (経尿道)
2023/10/01	(膀胱埋嚢) 第 8 号	膀胱頸部形成術 (膀胱頸部吊上術以外)、埋没陰茎手術及び陰嚢水腫手術 (鼠径部切開によるもの)
2022/04/01	(精精採) 第 1 号	精巣内精子採取術
2013/09/01	(腹前支器) 第 3 号	腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術 (内視鏡手術用支援機器を用いるもの)

2022/04/01	(体膜肺) 第 3 号	体外式膜型人工肺管理料
2022/04/01	(周栄養) 第 3 号	周術期栄養管理実施加算
2016/10/01	(輸血 I) 第 15 号	輸血管理料 1
2016/10/01	(輸適) 第 31 号	輸血適正使用加算
2018/04/01	(貯輸) 第 4 号	貯血式自己血輸血管理体制加算
2012/06/01	(造設前) 第 21 号	人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算
1996/07/01	(麻管 1) 第 14 号	麻酔管理料 (1)
2010/08/01	(麻管 2) 第 5 号	麻酔管理料 (2)
2022/04/01	(周薬管) 第 2 号	周術期薬剤管理加算
2023/05/01	(放専) 第 19 号	放射線治療専任加算
2023/05/01	(外放) 第 17 号	外来放射線治療加算
2016/04/01	(高放) 第 24 号	高エネルギー放射線治療
2023/07/01	(連携診) 第 12 号	保険医療機関間の連携による病理診断
2020/03/01	(病理診 2) 第 8 号	病理診断管理加算 2
2018/04/01	(悪病組) 第 1 号	悪性腫瘍病理組織標本加算

施設基準等と診療報酬 (入院時食事療養)

2024.3.31 現在

算定開始日	受理番号	施設基準名称
1931/02/01	(食) 第 178 号	入院時食事療法 (I)

施設基準等と診療報酬 (歯科)

2024.3.31 現在

算定開始日	受理番号	施設基準名称
2019/06/01	(病初診) 第 31 号	地域歯科診療支援病院歯科初診料
2021/08/01	(外来環 2) 第 143 号	歯科外来診療環境体制加算 2
2018/04/01	(医管) 第 847 号	歯科疾患管理料の注 11 に掲げる総合医療管理加算及び歯科治療時医療管理料
2018/04/01	(歯リハ 2) 第 209 号	歯科口腔リハビリテーション料 2
2021/02/01	(歯 CAD) 第 910 号	CAD/CAM 冠
2018/04/01	(補管) 第 1583 号	クラウン・ブリッジ維持管理料

施設基準等と診療報酬 (先進医療料)

2024.3.31 現在

算定開始日	受理番号	施設基準名称
2023/08/01	(先 -346) 第 5 号	子宮内膜刺激術 (SEET 法)
2023/04/01	(先 -349) 第 3 号	ヒアルロン酸を用いた生理学的精子選択術
2023/04/01	(先 -352) 第 2 号	強拡大顕微鏡を用いた形態学的精子選択術
2023/06/01	(先 -370) 第 1 号	膜構造を用いた生理学的精子選択術 (マイクロ流体技術を用いた精子選別)

施設基準等と診療報酬 (その他の届出)

2024.3.31 現在

算定開始日	受理番号	施設基準名称
2022/04/01	(酸単) 第 12047 号	酸素の単価

【まつなみ健康増進クリニック】**施設基準等と診療報酬（基本診療科）**

2024.3.31 現在

算定開始日	受理番号	施設基準名称
		該当なし

施設基準等と診療報酬（特掲診療科）

2024.3.31 現在

算定開始日	受理番号	施設基準名称
2022/04/01	(情報通信) 第 39 号	情報通信機器を用いた診療に係る基準
2022/04/01	(外来感染) 第 120 号	外来感染対策向上加算
2022/04/01	(連携強化) 第 86 号	連携強化加算
2022/06/01	(サ強化) 第 13 号	サーベイランス強化加算
2020/04/01	(外栄食指) 第 6 号	外来栄養食事指導料の注 2 に規定する基準
2020/05/01	(遠隔ペ) 第 21 号	心臓ペースメーカー指導管理料の注 5 に規定する遠隔モニタリング加算
2008/06/01	(糖管) 第 12 号	糖尿病合併症管理料
2013/08/01	(がん疼) 第 126 号	がん性疼痛緩和指導管理料
2022/04/01	(がん指イ) 第 24 号	がん患者指導管理料イ
2014/04/01	(がん指ロ) 第 8 号	がん患者指導管理料ロ
2017/06/01	(がん指ハ) 第 19 号	がん患者指導管理料ハ
2022/08/01	(がん指ニ) 第 13 号	がん患者指導管理料ニ
2012/04/01	(糖防管) 第 8 号	糖尿病透析予防指導管理料
2017/07/01	(ニコ) 第 13 号	ニコチン依存症管理料
2010/04/01	(肝炎) 第 11 号	肝炎インターフェロン治療計画料
2023/11/01	(在医総管) 第 740 号	在宅時医学総合管理料及び施設入居時医学総合管理料
2016/07/01	(在看) 第 17 号	在宅患者訪問看護・指導料
2014/04/01	(持血測 1) 第 2 号	持続血糖測定器加算 間歇注入シリンジポンプと連動する持続血糖測定器を用いる場合
2012/12/01	(持血側 1) 第 6 号	持続血糖測定器加算 皮下連続式グルコース測定
2020/04/01	(自血測 2) 第 5 号	持続血糖測定器加算 間歇注入シリンジポンプと連動しない持続血糖測定器を用いる場合
2022/04/01	(BRCA) 第 22 号	BRCA1/2 遺伝子検査
2020/04/01	(先代異) 第 1 号	先天性代謝異常症検査

施設基準等と診療報酬（その他の届出）

2024.3.31 現在

算定開始日	受理番号	施設基準名称
2022/04/01	(酸単) 第 12049 号	酸素の単価

医学会関連研修・修練施設認定及び指定**学会認定施設**

2024.3.31 現在

日本整形外科学会専門研修連携施設
日本眼科学会専門研修連携施設
日本麻酔科学会専門研修基幹施設
日本泌尿器科学会専門研修連携施設
日本病理学会専門研修連携施設
日本脳神経外科学会専門研修連携施設
日本消化器外科学会専門医修練施設
日本外科学会専門研修連携施設
日本循環器学会認定循環器専門医研修施設
日本呼吸器外科専門医合同委員会専門研修連携施設
日本呼吸器内視鏡学会専門医制度認定施設
日本内科学会専門研修基幹施設
日本超音波医学会認定超音波専門医研修施設
日本消化器内視鏡学会指導施設
日本ペインクリニック学会指定研修施設
日本糖尿病学会認定教育施設
日本臨床細胞学会教育研修施設
日本内分泌学会認定教育施設（産婦人科）
日本内分泌学会認定教育施設（内科）
日本消化器病学会認定施設
日本脳卒中学会認定研修教育病院
日本乳がん検診精度管理中央機構 マンモグラフィ検診施設・画像認定施設
日本呼吸器学会専門研修認定施設
日本臨床栄養代謝学会 NST 稼働施設
日本心血管インターベンション治療学会研修施設
日本インターベンショナルラジオロジー（IVR）学会専門医修練認定施設
日本形成外科学会専門研修連携施設
日本がん治療認定医機構 認定研修施設
日本高血圧学会高血圧認定研修施設
日本集中治療医学会専門医研修施設
日本透析医学会認定施設
日本臨床腫瘍学会認定研修施設（連携施設）
日本ステントグラフト実施基準管理委員会 腹部ステントグラフト実施施設
日本手外科学会手外科認定研修施設
日本脳神経血管内治療学会認定研修施設
オートプシー・イメージング学会 Ai 撮影参加施設
日本ステントグラフト実施基準管理委員会 胸部ステントグラフト実施施設
三学会構成心臓血管外科専門医認定機構基幹施設
日本病院総合診療医学会認定施設
日本病態栄養学会認定病態栄養専門医研修認定施設
日本産科婦人科学会専門研修基幹施設

日本内分泌外科学会専門医制度認定施設
 日本乳房オンコプラスチックサージャリー学会エキスパンダー実施施設
 日本乳房オンコプラスチックサージャリー学会インプラント実施施設
 下肢静脈瘤血管内焼灼術実施・管理委員会
 下肢静脈瘤に対する血管内焼灼術の実施基準による実施施設
 日本救急医学会専門研修連携施設
 日本ステントグラフト実施基準管理委員会 浅大体動脈ステントグラフト実施施設
 日本腎臓学会 認定教育施設
 日本胆道学会認定指導医制度 指導施設認定
 日本医学放射線学会 放射線科専門医修練機関（画像診断・IVR、核医学）
 日本血液学会 専門研修認定施設
 日本肥満学会認定肥満症専門病院
 日本膵臓学会 認定指導施設
 日本脊椎脊髄病学会 椎間板酵素注入療法実施可能施設
 日本消化器内視鏡学会 JED Project 参加施設
 日本歯科麻酔学会研修機関
 日本脳卒中学会 一次脳卒中センター（PSC）
 日本肝臓学会認定施設
 日本不整脈心電学会認定不整脈専門医研修施設
 日本脈管学会認定研修指定施設
 日本門脈圧亢進症学会技術認定教育施設
 日本輸血・細胞治療学会輸血機能評価認定施設（I & A 制度認定施設）
 経カテーテル的心臓弁治療関連学会協議会 経カテーテルの大動脈弁置換術実施施設
 日本専門医機構 内科専門研修基幹施設
 日本専門医機構 産婦人科研修基幹施設
 日本専門医機構 総合診療専門研修基幹施設
 日本専門医機構 麻酔科専門研修基幹施設
 日本プライマリ・ケア連合学会 新家庭医療専門研修連携施設
 日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会 専門研修連携施設

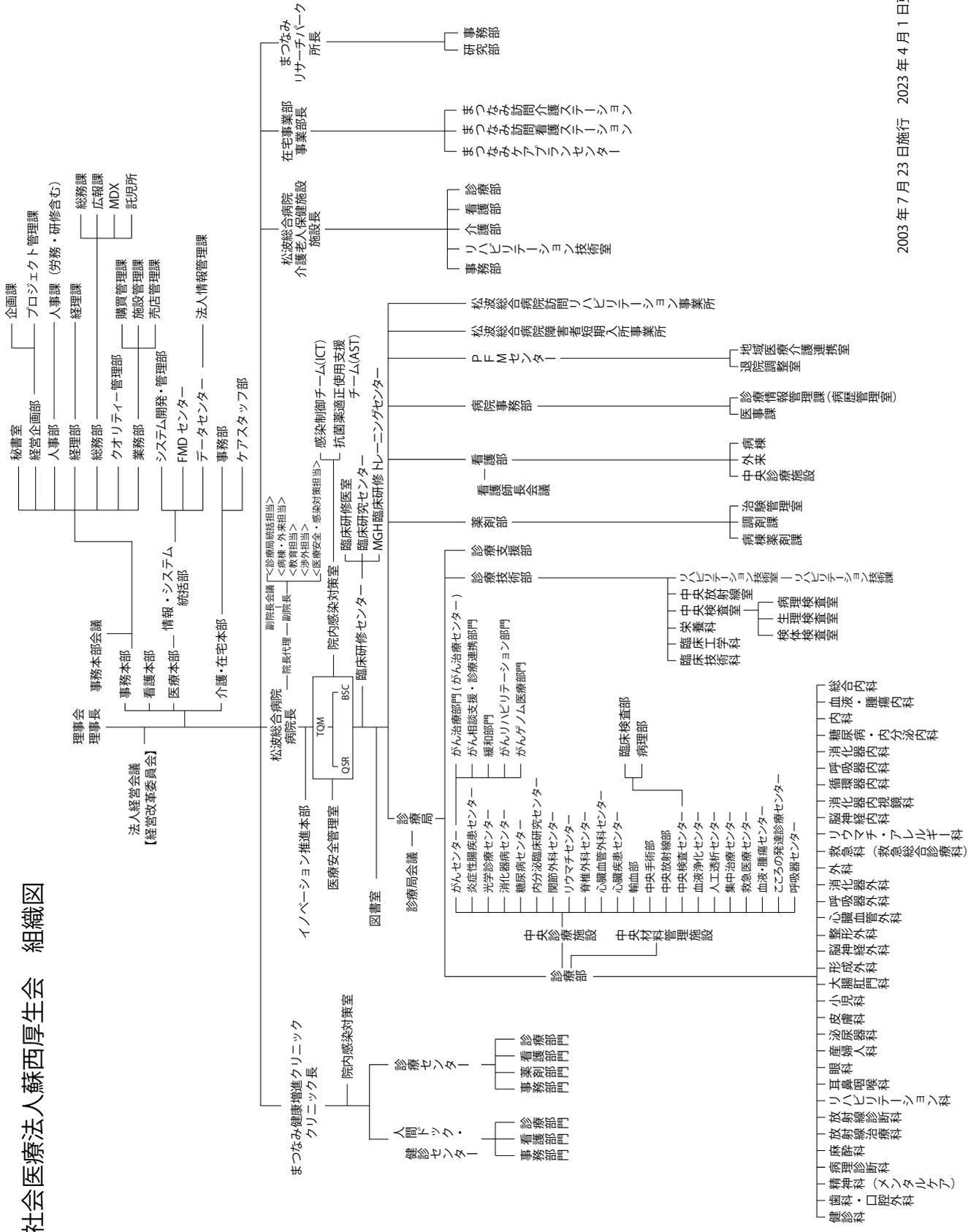
主要機関指定

2024.3.31 現在

保険医療機関
 臨床研修病院（医科）
 へき地医療拠点病院
 新型インフルエンザ等対策特別措置法による指定地方公共機関（社会医療法人蘇西厚生会として登録）
 岐阜 DMAT 指定病院
 災害拠点病院（地域災害医療センター）
 地域医療支援病院
 岐阜県特定不妊治療費助成事業医療機関
 岐阜県高次脳機能障害支援事業協力医療機関
 救急告示病院
 特定非営利活動法人卒後臨床研修評価機構認定病院
 日本医療機能評価機構（3rdG:Ver.2.0）認定病院
 松波総合病院障害者短期入所事業所
 全国がん登録における指定診療所（まつなみ健康増進クリニック）

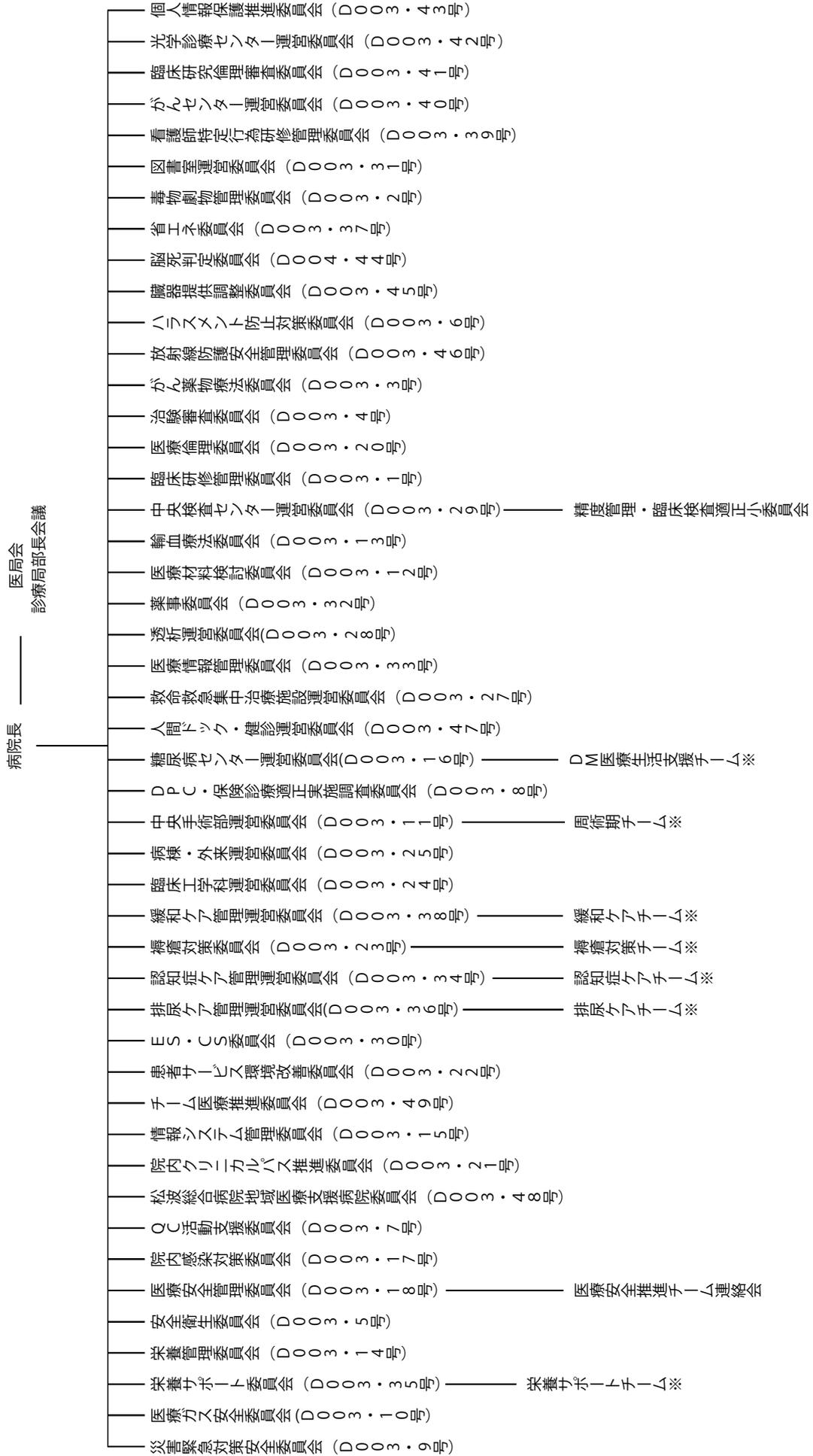
日本マタニティフィットネス協会登録施設
臨床研修施設（歯科）

社会医療法人蘇西厚生会 組織図



2023年7月23日施行 2023年4月1日更新

松波総合病院 委員会組織図



平成15年7月23日施行
令和6年4月1日更新

※印は、チーム医療推進委員会の構成員として機能する。

委員会構成総括表

2024年4月1日現在

委員会の名称	任務	開催回数	◎委員長 ○副委員長 △事務責任者			
			職位	氏名	職位	氏名
QC活動支援委員会	医療の質業務改善等全般	月1回	◎ 病院長補佐	足立 明隆	△ 医事課課長	村山 弘三
DPC・保険診療適正実施調査委員会 ※	保険請求業務の改善	月1回	◎ 病院長代理 ○ 病院事務部部长	鶴見 寿 小林 弘明	△ 医事課課長	長谷部 祐騎
災害緊急対策安全委員会 ※※	緊急災害対策施行	半期に1回	◎ 救急医療センター長 ○ 業務部部长	八十川 雄図 杉原 浩二	△ 医事課	船橋 俊幸
薬事委員会 ※※	薬剤の調達管理	四半期に1回	◎ 副院長兼医療本部副本部長 ○ 薬剤部部长	村井 敏博 松本 利恵	△ 薬剤部副主任	浦崎 江美華
医療ガス安全委員会 ※※	医療ガスの安全管理	年1回	◎ 業務部部长 ○ 薬剤部部长	杉原 浩二 松本 利恵	△ 業務部主任	津田 基樹
中央手術部運営委員会	手術室の運営	月1回 (第2月曜)	◎ 副院長・手術部部长 ○ 外科部部长	松波 紀行 木村 真樹	△ 手術室看護師長	脇坂 志保
医療材料検討委員会	医療材料採用管理	月1回	◎ 副院長 ○ 業務部部长	森田 則彦 杉原 浩二	△ 業務部副部长	古田 将人
輸血療法委員会 ※※	輸血療法の安全管理	偶数月に1回	◎ 病院長代理 ○ 中央検査室課長	鶴見 寿 森本 剛史	△ 検査室主任	角田 明美
栄養管理委員会 ※※	栄養管理業務 食品衛生管理	四半期1回	◎ 副院長 ○ 栄養科主任	林 慎 堀 弘美	△ 栄養科副主任	山平 由佳
安全衛生委員会 ※※	職員の健康安全	月1回	◎ 副院長 ○ 看護部主任	林 慎 照井 佳子	△ 人事部部長	伊藤 裕史
情報システム管理委員会	医療情報システムの管理運営	半期1回	◎ 副院長 ○ 病院長 ○ システム開発・管理部部長	林 慎 松波 和寿 山北 慎吾	△ システム開発・管理部課長	可兒 竜太
人間ドック・健診運営委員会	人間ドック業務	年1回	◎ 人間ドック・健診センター長 ○ 人間ドック・健診センター部長	林 慎 佐伯 正人	△ 人間ドック・健診センター課長	伊藤 量彦
糖尿病センター運営委員会	生活習慣病の管理 チーム医療の確立 病診連携の推進	年1回	◎ 副院長 ○ 看護部部长 ○ 病院長補佐	林 慎 伊藤 妙登美 足立 明隆	△ 栄養科副主任	五家 美幸
院内感染対策委員会 ※	感染管理	月1回	◎ 病院長代理 ○ 感染管理認定看護師長	鶴見 寿 文字 雅義	△ 事務部部长	杉下 実
医療安全管理委員会 ※	医療事故防止対策	月1回	◎ 副院長 ○ 看護部部长	春日井 敏夫 伊藤 妙登美	△ クオリティー管理部副主任	新改 成臣
松波総合病院地域医療支援病院委員会	地域医療支援病院のための改善、提案	年4回	◎ ひらたクリニック 名誉院長	平田 俊文	△ 地域医療介護連携室部長	西川 哲史
医療倫理委員会 ※※	医療に伴う倫理	四半期1回	◎ 医療管理監視役 ○ 内分泌臨床研究センター長	日置 敦巳 今井 篤志	△ 経営企画部課長	松岡 祐也
院内クリニカルパス推進委員会	クリニカルパスの推進管理	9回	◎ 副院長 ○ 看護部副看護部長	草深 裕光 筋野 恵里	△ 診療情報管理課副主任 □ パス認定士 ・オブザーバー	波谷 美香 今尾 裕子 残 馬 仁

患者サービス環境改善委員会	施設及び設備の改善を含む患者サービス	必要に応じ	◎ 小児科部長 ○ 看護本部長	林 照 恵 伊藤 妙登美	△ 業務部	奥田 哲也
ハラスメント防止対策委員会 ※※	ハラスメントの防止及び排除並びに発生時の対応	4ヶ月に1回	◎ 医療管理監視役 ○ 事務本部長	日置 敦巳 杉 下 実	△ 人事部部長	伊藤 裕史
褥瘡対策委員会 ※	入院患者の褥瘡予防管理	月1回	◎ 形成外科部長 ○ 皮膚・排泄ケア認定看護師	北 澤 健 奥田 容子		
臨床工学科運営委員会	医療機器の保守・管理	3ヶ月1回 (3・6・9・12)	◎ 副院長	森田 則彦	△ 臨床工学科部長	足立 光生
病棟・外来運営委員会	病棟及び救急外来管理運営並びに外来業務の管理運営とその連携	月1回	◎ 副院長 ○ 看護本部長	森田 則彦 伊藤 妙登美	△ クオリティー管理部 副主任	新改 成巨
救命救急集中治療施設運営委員会	救命救急集中治療施設の管理運営	月1回	◎ 救急医療センター長 ○ 循環器内科部長	八十川 雄因 小島 好修	○ 麻酔科副部長 △ 地域医療介護連携室主任	田中 亜季 長谷川 剛
透析運営委員会 ※	透析センター及び血液浄化センターの運営管理	月1回	◎ 人工透析センター長	石田 健一郎	△ 臨床工学科主任	青木 真矢
臨床研修管理委員会 ※	医師研修の運営	月1回	◎ 副院長	村山 正憲	△ 臨床研修医室主任	林 幸太郎
中央検査センター運営委員会 ※	検査センター業務の運営管理	月1回	◎ 中央検査センター顧問兼 糖尿病センター顧問 ○ 中央検査室部長	安田 圭吾 酒井 昭嘉	△ 中央検査室主任	橋本 あゆみ
精度管理・臨床検査適正小委員会※	精度管理・臨床検査適正化及び運営管理	月1回	◎ 中央検査センター顧問兼 糖尿病センター顧問 ○ 中央検査室部長	安田 圭吾 酒井 昭嘉	△ 中央検査室主任	橋本 あゆみ
治験審査委員会※※	治験審査の運営管理	月1回 (調査審議及び報告事項のない場合等はその限りではない)	◎ 内分泌臨床研究センター長 ○ 薬剤部部長	今井 篤志 松本 利恵		
臨床研究倫理審査委員会※※	治験審査の運営管理	月1回 (調査審議及び報告事項のない場合等はその限りではない)	◎ 内分泌臨床研究センター長 ○ 薬剤部部長	今井 篤志 松本 利恵		
E S ・ C S 委員会	患者・職員満足度向上	1回/2ヶ月 (偶数月)	◎ 副院長 ○ クオリティー管理部部長	松波 紀行 足立 成道	△ クオリティー管理部 部長	足立 成道
がん薬物療法委員会※	がん薬物療法に関する管理・運営	月1回	◎ 血液・腫瘍内科部長 ○ 薬剤部部長	原 武 志 松本 利恵	△ 薬剤部主任	横山 英典
放射線防護安全管理委員会※※	放射線防護安全管理に関する管理・運営	年2回	◎ 第2放射線科部長 ○ 中央放射線室部長	伊 原 昇 福 田 武	△ 中央放射線室副主任	加藤 聖也
臓器提供調整委員会※※	臓器提供の調整	随時	◎ 病院長 ○ 副院長	松波 和寿 松波 紀行	△ クオリティー管理部 部長	足立 成道
脳死判定委員会※※	脳死判定	随時	◎ 脳神経外科部長 ○ 看護部副看護部長	八十川 雄因 大野 智子	△ クオリティー管理部 部長	足立 成道

チーム医療推進委員会	各チーム医療の推進及び普及	年6回	◎ 副院長 ○ 薬剤部部長	森田 則彦 松本 利恵	△ 病院事務部部長	小林 弘明
医療情報管理委員会 ※	医療情報全般の管理及びデータ管理	偶数月に1回	◎ 副院長 ○ 副院長	林 慎 草深 裕光	△ 診療情報管理課課長	森 達也
省エネ委員会	省エネの推進	1回/2ヶ月	◎ 事務本部長 ○ 業務部	杉下 実 津田 基樹	△ 業務部	津田 基樹
毒物劇物管理委員会	毒劇物管理および保健衛生上の危害防止	年2回	◎ 病理診断科副部長 ○ 薬剤部部長	川島 啓佑 松本 利恵	△ 病理検査室検査技師	栗本 幸奈
図書室運営委員会	図書の購入並びに管理運営	年1回	◎ 副院長 ○ 総務部部長	林 慎 残馬 仁	△ 総務部総務課	田中 大地
認知症ケア管理運営委員会	入院患者の認知症予防管理	4月と奇数月年7回	◎ 精神科部長 ○ 看護部主任	小島 久典 川崎 葉子	△ 診療支援部課長	社本 六起
排尿ケア管理運営委員会	入院・外来患者の継続的排尿自立支援	月1回第3金曜	◎ 泌尿器科医員 ○ 看護部副師長(皮膚・排泄ケア認定看護師)	近藤 啓美 鶴飼 淳	△ 病院事務部医事課	木村 愛美
栄養サポート委員会	栄養サポートの推進及び普及	月1回	◎ 副院長 ○ 内科医員	林 慎 山本 奈央子	△ 栄養科副主任	山平 由佳
緩和ケア管理運営委員会	入院患者の緩和ケアを実施し苦痛緩和に取り組む	偶数月年6回	◎ 副院長 ○ 副院長	春日井 敏夫 松波 紀行	△ 診療支援部課長	社本 六起
看護師特定行為研修管理委員会※※	特定行為研修の運営・管理	年2回	◎ 副院長 ○ 看護本部長	林 慎 伊藤 妙登美	△ 総務部部長	残馬 仁
がんセンター運営委員会	がんセンターに関する管理・運営	月1回	◎ 病院長代理 ○ 看護本部長	鶴見 寿 伊藤 妙登美	△ 事務本部長	杉下 実
光学診療センター運営委員会	センターの運営、機器等の設備、マニュアル、同意書等の整備	月1回	◎ 副院長兼光学診療センター長 ○ 副院長兼第一消化器内科部長	荒木 寛司 田上 真	△ 看護部内視鏡事務員	井亦 あゆ美
個人情報保護推進委員会	重大な個人情報漏えい等に関する際に対応	必要に応じて	◎ 医療管理監視役 ○ 人事部部長	日置 敦巳 伊藤 裕史	△ クオリティー管理部副主任	新改 成臣

※ 診療報酬上必要な委員会

※※ 医療等必要な委員会

看護師長会議	病院及び看護部の運営に関すること	月2回	◎看護本部長 ○副看護部長 ○副看護部長 ○副看護部長 ○副看護部長	伊藤 妙登美 佐藤 裕子 筋野 恵里 大野 智子 小園 典子	△各師長(交代)		【看護部門】 看護師長・看護部長が指名した看護師 【医師部門】 診療局長、診療支援部長、病院顧問 【看護部門】 看護本部長 【事務・コメディカル関係】 病院長補佐、人事部長、中央放射線室部長、リハビリテーション技術室部長、臨床工学科部長、薬剤部長、地域医療介護連携室部長、秘書室課長、臨床研修医室主任、栄養科主任
勤務医看護師負担軽減策会議	勤務医等の負担軽減に関すること	年2回	◎病院長 ○事務本部長	松波 和寿 杉下 実	△総務部部长	残馬 仁	

医師プロフィール（医長以上）

（2024年3月31日現在）

【総合内科】

医師名	専門分野	取得資格(学会名)	取得資格(資格名等)	所属学会
村山正憲	内科一般 内分泌代謝	日本内科学会 日本内科学会 日本内科学会 日本内科学会 日本内分泌学会 日本内分泌学会 日本病院総合診療医学会 日本専門医機構	認定内科医 認定内科専門医 総合内科専門医 指導医 内分泌代謝科（内科） 専門医 指導医 認定病院総合診療医 総合診療専門研修特 任指導医	日本内科学会 日本内分泌学会 日本病院総合診療医学会
諏訪哲也	内科一般 内分泌 糖尿病 高血圧	日本内科学会 日本内科学会 日本内科学会 日本内分泌学会 日本内分泌学会 日本糖尿病学会 日本内分泌学会・日 本糖尿病学会	認定内科医 総合内科専門医 指導医 内分泌代謝科（内科） 専門医 指導医 糖尿病専門医 内分泌代謝・糖尿病 内科領域研修指導医	日本内科学会 日本内分泌学会 日本糖尿病学会 日本炎症・再生学会 日本高血圧学会 日本老年医学会 日本臨床免疫学会 日本ステロイドホルモン学会 米国内分泌学会 日本肥満治療学会
山田梨絵	内科一般	日本内科学会 日本内科学会 日本糖尿病学会 日本内分泌学会 日本内分泌学会 日本プライマリ・ケア連合学会 日本プライマリ・ケア連合学会 日本病院総合診療医学会 日本専門医機構	認定内科医 総合内科専門医 糖尿病専門医 内分泌代謝科（内科） 専門医 指導医 認定医 指導医 認定病院総合診療医 総合診療専門研修特 任指導医	日本内科学会 日本糖尿病学会 日本内分泌学会 日本高血圧学会 日本プライマリ・ケア連合学会 日本病院総合診療医学会 日本リウマチ学会
岩田 暁	内科一般	日本内科学会 日本内科学会 日本感染症学会 ICD 制度協議会	認定内科医 総合内科専門医 感染症専門医 認定 ICD	日本内科学会 日本感染症学会 日本臨床微生物学会

傍島卓也	内科一般	日本内科学会 日本内科学会	認定内科医 総合内科専門医	日本内科学会
小出祐也	糖尿病	日本内科学会 日本内分泌学会 日本糖尿病学会 日本内分泌学会・日 本糖尿病学会	認定内科医 内分泌代謝科(内科)専門医 糖尿病専門医 内分泌代謝・糖尿病 内科領域専門研修指導医	

【内科】

医師名	専門分野	取得資格(学会名)	取得資格(資格名等)	所属学会
村井敏博	総合内科 消化器疾患 内分泌・代謝学 (糖尿病)	日本内科学会 日本内科学会 日本糖尿病学会 日本糖尿病学会 ICD 制度協議会	認定内科医 総合内科専門医 糖尿病専門医 研修指導医 認定 ICD	日本内科学会 日本糖尿病学会 日本感染症学会
草深裕光	内科一般 膠原病 感染症 医療情報	日本内科学会 日本内科学会 日本透析医学会 米国内科学会 日本医師会 日本医療情報学会	認定内科医 総合内科専門医 透析専門医 FACP (Fellow of the American College of Physicians) 認定産業医 社会医学系専門医	日本内科学会 米国内科学会 (ACP) 日本透析医学会 日本医療情報学会 日本クリニカル・パス学会
安藤量基	消化器疾患	日本臨床分子医学会 日本肝臓学会西部会	評議員 評議員	日本内科学会 日本消化器病学会 日本肝臓学会 日本免疫学会 日本臨床免疫学会 日本臨床分子医学会
杉本浩志	循環器疾患 一般外科			
森下哲司	循環器内科	日本内科学会 日本内科学会 日本循環器学会 日本心血管インター ベンション治療学会	認定内科医 総合内科専門医 循環器専門医 日本心血管インター ベンション治療学会 認定医	日本内科学会 日本循環器学会 日本心臓病学会 日本心血管インターベンション治 療学会

【医療管理】

医師名	専門分野	取得資格(学会名)	取得資格(資格名等)	所属学会
日置敦巳	感染症対策 健康管理	ICD制度協議会 日本医師会 社会医学系専門医協会 社会医学系専門医協会	認定ICD 認定産業医 社会医学系専門医 指導医	日本感染症学会 日本産業衛生学会 日本臨床寄生虫学会 日本内科学会 日本人間ドック学会

【消化器内科】

医師名	専門分野	取得資格(学会名)	取得資格(資格名等)	所属学会
富田栄一	消化器疾患 ウイルス肝炎(B型,C型) 脂肪肝(NASH) その他肝胆膵疾患	日本内科学会 日本消化器病学会 日本消化器病学会 日本消化器病学会 日本消化器内視鏡学会 日本消化器内視鏡学会 日本消化器内視鏡学会 日本肝臓学会 日本肝臓学会	認定内科医 消化器病専門医 指導医 功労会員 消化器内視鏡専門医 指導医 功労会員 肝臓専門医 指導医	日本内科学会 日本消化器病学会 日本消化器内視鏡学会 日本肝臓学会 日本膵臓学会 日本医療マネジメント学会 日本糖尿病学会 日本臨床腫瘍学会 日本超音波医学会 日本消化管学会
田上 真	肝臓治療全般	日本内科学会 日本消化器病学会 日本消化器病学会 日本肝臓学会 日本肝臓学会	認定内科医 消化器病専門医 指導医 肝臓専門医 指導医	日本内科学会 日本消化器病学会 日本消化器内視鏡学会 日本肝臓学会 日本門脈圧亢進症学会 日本肝臓学会 リザーバー研究会 日本緩和医療学会

荒木寛司	消化器内視鏡 消化管癌の診療 炎症性腸疾患 門脈圧亢進症 機能性消化管疾患	日本内科学会 日本内科学会 日本内科学会 日本内科学会 日本消化器病学会 日本消化器病学会 日本消化器病学会 日本消化器病学会 日本消化器内視鏡学会 日本消化器内視鏡学会 日本消化器内視鏡学会 日本消化器内視鏡学会 日本消化管学会 日本消化管学会 日本門脈圧亢進症学会 日本門脈圧亢進症学会	認定内科医 総合内科専門医 指導医 東海地方会評議員 消化器病専門医 指導医 評議員 東海支部評議員 消化器内視鏡専門医 指導医 社団評議員 東海支部幹事 東海支部評議員 胃腸科専門医 指導医 技術認定医 評議員	日本内科学会 日本消化器病学会 日本消化器内視鏡学会 日本門脈圧亢進症学会 日本消化管学会 American Society for Gastrointestinal Endoscopy(International member)
杉原潤一	肝臓病学 消化器病学	日本内科学会 日本内科学会 日本内科学会 日本消化器病学会 日本消化器病学会 日本消化器病学会 日本消化器病学会 日本消化器内視鏡学会 日本消化器内視鏡学会 日本肝臓学会 日本肝臓学会 日本肝臓学会 ICD 制度協議会	認定内科医 指導医 東海地区評議員 消化器病専門医 指導医 評議員 名誉支部会員 消化器内視鏡専門医 指導医 肝臓専門医 指導医 西部会評議員 認定 ICD	日本内科学会 日本消化器病学会 日本消化器内視鏡学会 日本肝臓学会 日本急性肝不全研究会 日本感染症学会

伊藤康文	消化器疾患 内分泌代謝疾患	日本内科学会 日本内科学会 日本内科学会 日本消化器病学会 日本消化器病学会 日本消化器内視鏡学会 日本消化器内視鏡学会 日本糖尿病学会 日本糖尿病学会 日本内分泌学会 日本内分泌学会 日本肝臓学会 日本ヘリコバクター学会	認定内科医 総合内科専門医 指導医 消化器病専門医 指導医 消化器内視鏡専門医 指導医 糖尿病専門医 研修指導医 内分泌代謝科(内科)専門医 領域指導医 肝臓専門医 ピロリ菌感染症認定医	日本内科学会 日本消化器病学会 日本内分泌学会 日本糖尿病学会 日本消化器内視鏡学会 日本肝臓学会 日本ヘリコバクター学会 腸内細菌学会 日本臨床腸内微生物学会 日本炎症性腸疾患学会 日本消化器免疫学会
浅野剛之	消化器疾患・IVR 総合内科 内分泌・代謝疾患	日本内科学会 日本内科学会 日本内科学会 日本消化器病学会 日本消化器内視鏡学会 日本化学療法学会 ICD 制度協議会 日本救急医学会 日本内科学会	認定内科医 総合内科専門医 指導医 消化器病専門医 消化器内視鏡専門医 抗菌化学療法指導医 認定 ICD ICLS・BLS コースイ ンストラクター JMECC インストラクター	日本内科学会 日本内分泌学会 日本消化器病学会 日本消化器内視鏡学会 日本東洋医学会 日本糖尿病学会 日本化学療法学会
早崎直行	消化器疾患	日本内科学会 日本内科学会 日本内科学会 日本消化器病学会 日本消化器病学会 日本消化器内視鏡学会 日本消化器内視鏡学会 日本医師会	認定内科医 総合内科専門医 指導医 消化器病専門医 指導医 消化器内視鏡専門医 指導医 認定産業医	日本内科学会 日本消化器内視鏡学会 日本消化器病学会

中西孝之	消化器疾患 消化管領域	日本内科学会 日本内科学会 日本内科学会 日本消化器病学会 日本消化器病学会 日本消化器病学会 日本消化器内視鏡学会 日本消化器内視鏡学会 日本消化器内視鏡学会 日本消化管学会 日本消化管学会 日本肝臓学会	認定内科医 総合内科専門医 指導医 消化器病専門医 指導医 東海支部評議員 消化器内視鏡専門医 指導医 東海支部評議員 胃腸科専門医 指導医 肝臓専門医	日本内科学会 日本消化器病学会 日本消化器内視鏡学会 日本肝臓学会 日本消化管学会 日本門脈圧亢進症学会 日本胃癌学会
河口順二	消化器疾患 胆道・膵臓領域	日本内科学会 日本内科学会 日本内科学会 日本消化器病学会 日本消化器病学会 日本消化器病学会 日本消化器内視鏡学会 日本消化器内視鏡学会 日本消化器内視鏡学会 日本胆道学会 日本膵臓学会 日本肝臓学会	認定内科医 総合内科専門医 指導医 消化器病専門医 指導医 東海支部評議員 消化器内視鏡専門医 指導医 東海支部評議員 指導医 指導医 肝臓専門医	日本内科学会 日本消化器病学会 日本消化器内視鏡学会 日本胆道学会 日本膵臓学会 日本肝臓学会
全 秀 嶺	消化器疾患			

【腎臓内科】

医師名	専門分野	取得資格(学会名)	取得資格(資格名等)	所属学会
矢島隆宏	腎臓疾患・透析一般 内分泌 糖尿病	日本内科学会 日本内科学会 日本腎臓学会 日本内分泌学会 日本内分泌学会 日本内分泌学会 日本糖尿病学会 日本糖尿病学会 日本透析医学会 日本透析医学会 日本高血圧学会 日本高血圧学会	認定内科医 総合内科専門医 腎臓専門医 内分泌代謝科(内科)専門医 指導医 評議員 糖尿病専門医 指導医 透析専門医 指導医 専門医 指導医	日本内科学会 日本腎臓学会 日本内分泌学会 日本糖尿病学会 日本透析医学会 日本高血圧学会

【呼吸器内科】

医師名	専門分野	取得資格(学会名)	取得資格(資格名等)	所属学会
坂 英雄	肺がんの化学療法 気管支鏡による診 断・治療 呼吸器インターベ ンション	日本内科学会 日本内科学会 日本呼吸器学会 日本呼吸器学会 日本呼吸器内視鏡学会 日本呼吸器内視鏡学会 日本呼吸器内視鏡学会 日本呼吸器内視鏡学会 日本呼吸器内視鏡学会 日本臨床腫瘍学会 日本臨床腫瘍学会 日本臨床腫瘍学会 日本肺癌治療学会 日本がん治療認定医機構 Bronchoscopy International	認定内科医 総合内科専門医 呼吸器専門医 指導医 気管支鏡専門医 指導医 国際委員 前中部支部長 2016年学術集会会長 がん薬物療法専門医 指導医 功労会員 特別会員 がん治療認定医 Master Instructor	日本内科学会 日本呼吸器学会 日本呼吸器内視鏡学会 日本癌学会 日本臨床腫瘍学会 日本肺癌学会 日本癌治療学会 日本メディカル AI 学会 American Society of Clinical Oncology American Thoracic Society American College of Chest Physicians,Fellow Asian-Pacific Association for Bronchology and Interventional Pulmonology Asian-Pacific Society of Respiriology European Respiratory Society International Association for the Study of Lung Cancer World Associarion for Bronchology and Interventional Pulmonology

【循環器内科】

医師名	専門分野	取得資格(学会名)	取得資格(資格名等)	所属学会
森田則彦	循環器疾患(心臓・大動脈・末梢血管)	日本内科学会 日本循環器学会 日本心血管インターベンション治療学会 日本心血管インターベンション治療学会	認定内科医 循環器専門医 認定医 専門医	日本循環器学会 日本内科学会 日本心血管インターベンション治療学会
上野勝己	循環器疾患(カテーテル治療)	日本内科学会 日本内科学会 日本循環器学会 日本心血管インターベンション治療学会 日本心血管インターベンション治療学会	認定内科医 総合内科専門医 循環器専門医 認定医 専門医	日本内科学会 日本循環器学会 日本不整脈学会 日本救急医学会 日本糖尿病学会 日本心血管インターベンション治療学会 日本心臓リハビリテーション学会
香曾我部泰	不整脈	日本内科学会 日本内科学会 日本循環器学会 日本不整脈心電学会 日本心不全学会・日本不整脈心電学会	認定内科医 総合内科専門医 循環器専門医 不整脈専門医 植込み型除細動器／ペースングによる不全治療研修証	日本内科学会 日本循環器学会 日本不整脈心電学会
小島好修	心疾患全般	日本内科学会 日本内科学会 日本循環器学会 浅大腿動脈ステントグラフト実施基準管理委員会 日本心血管インターベンション治療学会 日本心不全学会・日本不整脈心電学会 厚生労働省 日本内科学会	認定内科医 総合内科専門医 循環器専門医 浅大腿動脈ステントグラフト実施医 GORE VIABAHN Endoposthesis 認定医 植込み型除細動器／ペースングによる不全治療研修証 日本 DMAT 隊員 JMECC インストラクター	日本循環器学会 日本内科学会 日本心血管インターベンション治療学会 日本静脈学会

近藤裕樹	冠動脈・末梢動脈の カテーテル治療 弁膜症	日本内科学会 日本内科学会 日本循環器学会 日本心血管インター ベンション治療学会 浅大腿動脈ステント グラフト実施基準管 理委員会 日本心不全学会・日 本不整脈心電学会 日本経カテーテル心 臓弁治療学会 日本ステントグラフト 実施基準管理委員会	認定内科医 総合内科専門医 循環器専門医 認定医 浅大腿動脈ステント グラフト実施医 GORE VIABAHN Endoposthesis 植込み型除細動器/ ペースングによる不 全治療研修証 カテーテル大動脈弁 置換 (TAVR) 指導医 腹部ステントグラフ ト実施医	日本内科学会 日本循環器学会 日本心血管インターベンション治療学会 日本不整脈心電学会
江崎正泰	循環器疾患	日本内科学会 日本循環器学会 日本医師会	認定内科医 循環器専門医 認定産業医	日本内科学会 日本循環器学会 日本心臓リハビリテーション学会

【血液・腫瘍内科】

医師名	専門分野	取得資格(学会名)	取得資格(資格名等)	所属学会
鶴見 寿	血液疾患 HIV 臨床腫瘍学	日本内科学会 日本内科学会 日本内科学会 日本内科学会 日本臨床内科医会 日本血液学会 日本血液学会 日本血液学会 日本消化器内視鏡学会 日本臨床腫瘍学会 日本臨床腫瘍学会 日本臨床腫瘍学会 日本がん治療認定機構 日本エイズ学会 日本エイズ学会 日本造血・免疫細胞療法学会 日本輸血・細胞治療学会 ICD 制度協議会 日本骨髓腫学会	認定内科医 総合内科専門医 指導医 評議員 臨床内科専門医 血液専門医 指導医 評議員 消化器内視鏡専門医 がん薬物療法専門医 指導医 協議員 がん治療認定医 認定医 認定指導医 認定医 東海支部評議員 認定 ICD 代議員	日本内科学会 日本血液学会 日本臨床腫瘍学会 日本エイズ学会 日本造血・免疫細胞療法学会 米国血液学会 日本感染症学会 日本消化器内視鏡学会 日本骨髓腫学会 日本リンパ網内系学会 日本輸血・細胞治療学会

原 武志	血液疾患	日本内科学会 日本内科学会 日本内科学会 日本内科学会 日本血液学会 日本血液学会 日本血液学会 日本臨床腫瘍学会 日本臨床腫瘍学会 日本がん治療認定医機構	認定内科医 総合内科専門医 指導医 東海支部評議員 血液専門医 指導医 東海地区評議員 がん薬物療法専門医 指導医 がん治療認定医	日本内科学会 日本血液学会 日本臨床腫瘍学会 米国血液学会
李 心	血液内科	日本内科学会 日本内科学会 日本内科学会 日本血液学会 日本血液学会 日本血液学会 日本臨床腫瘍学会 ICD 制度協議会	認定内科医 総合内科専門医 指導医 血液専門医 指導医 東海地区評議員 がん薬物療法専門医 認定 ICD	日本内科学会 日本血液学会 日本造血幹細胞移植学会 日本感染症学会 日本臨床腫瘍学会
藤田 慧	血液内科	日本内科学会 日本内科学会 日本内科学会 日本血液学会 日本血液学会	認定内科医 総合内科専門医 指導医 血液専門医 指導医	日本内科学会 日本血液学会 日本臨床腫瘍学会

【小児科】

医師名	専門分野	取得資格(学会名)	取得資格(資格名等)	所属学会
林 照恵	気管支喘息 アレルギー疾患 小児発達	日本小児科学会 日本小児科医会 日本小児科医会 日本小児科医会 日本アレルギー学会 日本公認心理士協会	小児科専門医 地域総合小児医療認定医 地域総合小児医療認定医指導者 「子どもの心」相談医 アレルギー専門医(小児科) 公認心理士	日本小児科学会 日本アレルギー学会 日本小児アレルギー学会 日本小児神経学会 日本小児精神神経学会 日本小児感染症学会 日本小児リウマチ学会
笠原由貴子	小児一般	日本小児科学会 日本小児科学会 子どものこころ専門医機構 日本小児精神神経学会	小児科専門医 出生前コンサルト小児科医 子どものこころ専門医 認定医	日本小児科学会 日本小児神経学会 日本小児精神神経学会 日本人類遺伝学会

松澤依子	小児一般	日本小児科学会 日本小児科医会	小児科専門医 「子どもの心」相談医	日本小児科学会 日本小児神経学会 日本重症心身障害学会
------	------	--------------------	----------------------	-----------------------------------

【外科・消化器外科】

医師名	専門分野	取得資格(学会名)	取得資格(資格名等)	所属学会
松波英寿	大腸肛門科 領域全般 一般外科 移植外科	日本外科学会 日本外科学会 日本外科学会 日本臨床外科学会 日本消化器外科学会 日本移植学会 細胞治療認定管理師 制度協議会 日本肝移植学会 日本臓器保存生物医学 学会 日本医師会 日本スポーツ協会	認定医 外科専門医 指導医 評議員 認定医 移植認定医 細胞治療認定管理師 特別会員 評議員 認定産業医 公認スポーツドクター	日本外科学会 日本医師会 日本臨床外科学会 The Transplantation Society The Transplantation Society of Australia and New Zealand The International Society for Artificial Organs 日本移植学会 日本消化器外科学会 日本消化器病学会 日本肝臓学会 日本肝移植研究会 日本臓器保存生物医学会 日本外科系連合学会 日本癌治療学会 日本内視鏡外科学会 日本ロボット外科学会 東海外科学会 日本肝癌研究会 日本輸血細胞治療学会 日本内視鏡下肥満・糖尿病外科研 究会 日本肥満学会 セルロース学会 日本公衆衛生学会 日本臨床検査医学会 日本肥満症治療学会 日本遠隔医療学会 日本早期認知症学会

木村真樹	上部消化管内視鏡 ロボット支援手術 肝胆膵外科	日本外科学会 日本外科学会 日本外科学会 日本臨床外科学会 日本消化器外科学会 日本消化器外科学会 日本消化器外科学会 日本がん治療認定医機構 日本食道学会 日本肝胆膵外科学会 日本肝胆膵外科学会 日本肝胆膵外科学会 日本内視鏡外科学会 日本内視鏡外科学会 日本内視鏡外科学会 日本ロボット外科学会	認定医 外科専門医 指導医 評議員 消化器外科専門医 指導医 消化器がん外科治療認定医 がん治療認定医 食道科認定医 肝胆膵外科高度技能 指導医 評議員 ロボット支援膵体尾 部切除プロクター(機 種名：daVinci) 技術認定医(胃) ロボット支援手術認 定プロクター(消化 器・一般外科：胃) 評議員 専門医(国内B) da Vinci certificate(Console Surgeon)	日本外科学会 日本消化器外科学会 日本胸部外科学会 日本肝胆膵外科学会 日本食道学会 日本胃癌学会 日本内視鏡外科学会 日本臨床外科学会 日本腹部救急医学会 日本ロボット外科学会 日本肝臓内視鏡外科学会 日本膵臓内視鏡外科学会 関東腹腔鏡下胃切除研究会 日本肥満症治療学会
------	-------------------------------	--	--	---

<p>栃井航也</p>	<p>腹腔鏡手術・ロボット支援手術（大腸） 甲状腺外科 ヘルニア 肛門外科</p>	<p>日本外科学会 日本臨床外科学会 日本消化器外科学会 日本消化器外科学会 日本消化器外科学会 日本消化器外科学会 日本内視鏡外科学会 日本内視鏡外科学会 日本内視鏡外科学会 日本大腸肛門病学会 日本肝胆膵外科学会 日本がん治療認定医機構 日本乳がん検診精度管理中央機構 日本内分泌外科学会 日本甲状腺学会 日本ロボット外科学会 日本乳腺甲状腺超音波医学会 内痔核治療法研究会 日本医師会 日本医師会 厚生労働省 厚生労働省 東海ヘルニア研究会</p>	<p>外科専門医 評議員 消化器外科専門医 指導医 消化器がん外科治療認定医 技術認定(消化器・一般外科) ロボット支援手術認定プロクター（消化器・一般外科：直腸、結腸） 評議員 大腸肛門病専門医 評議員 がん治療認定医 検診マンモグラフィ読影認定医師 内分泌外科専門医(甲状腺外科) 甲状腺専門医 専門医（国内B） 甲状腺超音波ガイド下穿刺診断専門医 硬化療法（ALTA）実施資格 認定健康スポーツ医 認定産業医 麻酔科標榜医 日本 DMAT 隊員 世話人 da Vinci certificate(Console Surgeon)</p>	<p>日本外科学会 日本消化器外科学会 日本消化器病学会 日本内視鏡外科学会 日本大腸肛門病学会 日本肝胆膵外科学会 日本腹部救急医学会 日本内分泌外科学会 日本ロボット外科学会 日本臨床外科学会 日本甲状腺学会 日本ヘルニア学会 日本乳腺甲状腺超音波医学会</p>
-------------	---	--	---	---

東 敏 弥	消化器外科 肝胆膵外科 内視鏡外科	日本外科学会 日本消化器外科学会 日本消化器外科学会 日本消化器外科学会 日本消化器病学会 日本内視鏡外科学会 日本肝胆膵外科学会 日本肝胆膵外科学会	外科専門医 消化器外科専門医 指導医 消化器がん外科治療認定医 消化器病専門医 技術認定医（肝臓） 高度技能専門医 評議員 da Vinci certificate(Console Surgeon)	日本外科学会 日本消化器外科学会 日本肝胆膵外科学会 日本内視鏡外科学会 日本臨床外科学会 日本肝臓学会 日本膵臓学会 日本胆道学会 日本消化器病学会 日本癌学会 日本癌治療学会 日本外科系連合学会 日本乳癌学会 日本東洋医学会 日本サイエンス漢方処方研究会
-------	-------------------------	--	---	---

【乳腺外科】

医師名	専門分野	取得資格(学会名)	取得資格(資格名等)	所属学会
森 美 樹	乳腺外科 消化器外科疾患	日本外科学会 日本外科学会 日本乳癌学会 日本乳癌学会 日本消化器外科学会 日本消化器外科学会 日本消化器病学会 日本消化器病学会 日本肝臓学会 日本腹部救急医学会 日本医師会 日本乳がん検診精度管 理中央機構 日本乳がん検診精度管 理中央機構	外科専門医 指導医 乳腺認定医 専門医 消化器外科専門医 指導医 消化器病専門医 指導医 肝臓専門医 腹部救急認定医 認定産業医 検診マンモグラフィ ー読影認定医 乳腺超音波認定医	日本外科学会 日本乳癌学会 日本消化器外科学会 日本消化器病学会 日本肝臓学会 日本腹部救急医学会 日本臨床外科学会

【心臓血管外科】

医師名	専門分野	取得資格(学会名)	取得資格(資格名等)	所属学会
熊田佳孝	心臓・大腸脈の手術 末梢血行障害の治療 フットケア	日本外科学会 日本外科学会 三学会構成心臓血管外科 科専門医認定機構 日本心不全学会・日本 不整脈心電学会 日本ステントグラフト 実施基準管理委員会 日本ステントグラフト 実施基準管理委員会 日本ステントグラフト 実施基準管理委員会 日本ステントグラフト 実施基準管理委員会 日本ステントグラフト 実施基準管理委員会	認定医 外科専門医 心臓血管外科専門医 植込み型除細動器/ペーシ ングによる不全治療研修証 胸部ステントグラフト実 施医 GORE TAG Thoracic Endprosthesis 胸部ステントグラフト指 導医 GORE TAG Thoracic Endprosthesis 腹部ステントグラフ ト実施医 Zenith AAA Endovascular Graft 腹部ステントグラフト 実施医 Gore Excluder Endprosthesis 腹部ステントグラフト 指導医 Gore Excluder Endprosthesis	日本外科学会 日本心臓血管外科学会 日本脈管学会 日本集中治療学会 日本フットケア学会

河合憲一	成人心臓血管外科手術 大動脈外科手術	日本外科学会 三学会構成心臓血管外科専門医認定機構 日本脈管学会 日本脈管学会 日本ステントグラフト実施基準管理委員会 日本ステントグラフト実施基準管理委員会 日本ステントグラフト実施基準管理委員会 日本ステントグラフト実施基準管理委員会 日本ステントグラフト実施基準管理委員会 日本ステントグラフト実施基準管理委員会 日本ステントグラフト実施基準管理委員会 日本ステントグラフト実施基準管理委員会 日本ステントグラフト実施基準管理委員会 日本ステントグラフト実施基準管理委員会 日本ステントグラフト実施基準管理委員会 浅大腿動脈ステントグラフト実施基準管理委員会	外科専門医 心臓血管外科専門医 脈管専門医 研修指導医 胸部ステントグラフト実施医 GORE TAG Thoracic Endprosthesis 胸部ステントグラフト実施医 Zenith TX2TAA Endovascular Graft 胸部ステントグラフト実施医 VALIANT Captivia 胸部ステントグラフト指導医 GORE TAG Thoracic Endprosthesis 胸部ステントグラフト指導医 Zenith TX2/ Alpha 腹部ステントグラフト実施医 Gore Excluder Endprosthesis 腹部ステントグラフト実施医 ENDURANT ステントグラフトシステム 腹部ステントグラフト指導医 ENDURANT ステントグラフトシステム 腹部ステントグラフト実施医 AFX ステントグラフトシステム 腹部ステントグラフト指導医 Gore Excluder Endprosthesis 腹部ステントグラフト指導医 AFX ステントグラフトシステム 浅大腿動脈ステントグラフト実施医 GORE VIABAHN Endoposthesis	日本外科学会 日本胸部外科学会 日本心臓血管外科学会 日本血管外科学会 日本脈管学会 日本静脈学会
------	-----------------------	---	---	--

		<p>血管内レーザー焼灼術実施・管理委員会</p> <p>下肢静脈瘤血管内焼灼術実施・管理委員会</p> <p>下肢静脈瘤血管内焼灼術実施・管理委員会</p> <p>下肢静脈瘤血管内焼灼術実施・管理委員会</p> <p>日本医師会</p>	<p>下肢静脈瘤に対する血管内レーザー焼灼術の実施基準による実施医</p> <p>下肢静脈瘤に対する血管内焼灼術の実施基準による指導医</p> <p>下肢静脈瘤に対する血管内治療実施基準による実施医</p> <p>下肢静脈瘤に対する血管内治療実施基準による指導医</p> <p>認定産業医</p>	
石田成吏洋	成人心臓・大動脈外科手術 低侵襲心臓手術	<p>日本外科学会</p> <p>日本外科学会</p> <p>日本外科学会</p> <p>三学会構成心臓血管外科専門医認定機構</p> <p>三学会構成心臓血管外科専門医認定機構</p> <p>日本脈管学会</p> <p>日本脈管学会</p> <p>日本ステントグラフト実施基準管理委員会</p> <p>日本ステントグラフト実施基準管理委員会</p> <p>日本ステントグラフト実施基準管理委員会</p> <p>日本ステントグラフト実施基準管理委員会</p> <p>日本ステントグラフト実施基準管理委員会</p> <p>日本ステントグラフト実施基準管理委員会</p> <p>日本ステントグラフト実施基準管理委員会</p>	<p>認定医</p> <p>外科専門医</p> <p>指導医</p> <p>心臓血管外科専門医</p> <p>修練指導者</p> <p>脈管専門医</p> <p>脈管指導医</p> <p>胸部ステントグラフト実施医 GORE TAG Thoracic Endprosthesis</p> <p>腹部ステントグラフト実施医 Gore Excluder Endprosthesis</p> <p>腹部ステントグラフト実施医 ENDURANT ステントグラフトシステム</p> <p>腹部ステントグラフト指導医 ENDURANT ステントグラフトシステム</p> <p>腹部ステントグラフト指導医 Gore Excluder Endprosthesis</p> <p>腹部ステントグラフト実施医 AFX ステントグラフトシステム</p> <p>腹部ステントグラフト指導医 AFX ステントグラフトシステム</p>	<p>日本外科学会</p> <p>日本胸部外科学会</p> <p>日本心臓血管外科学会</p> <p>日本血管外科学会</p> <p>日本循環器学会</p> <p>日本冠疾患学会</p> <p>日本脈管学会</p> <p>日本冠動脈外科学会</p> <p>日本経カテーテル心臓弁治療学会</p> <p>日本フットケア・足病医学会</p>

【整形外科】

医師名	専門分野	取得資格(学会名)	取得資格(資格名等)	所属学会
福田 雅	整形外科一般 関節外科 肩関節外科 筋骨格系超音波 診断	日本整形外科学会 日本整形外科学会 中部日本整形外科災 害外科学会 日本肩関節学会 東海スポーツ傷害研究会 東海関節鏡研究会	整形外科専門医 スポーツ医 評議員 リバーズ型人工肩関 節置換術施行資格 幹事 幹事	日本整形外科学会 日本肩関節学会 日本股関節学会 日本膝関節学会 日本スポーツ整形外科学会 中部日本整形外科災害外科学会 日本人工関節学会 日本骨折治療学会 日本足の外科学会 東海スポーツ傷害研究会 東海関節鏡研究会
日置 暁	整形外科一般 脊椎脊髄外科	日本整形外科学会 日本整形外科学会 日本脊椎脊髄病学会 日本脊椎脊髄病学会	整形外科専門医 脊椎脊髄病医 脊椎脊髄外科専門医 指導医	日本整形外科学会 日本脊椎脊髄病学会 日本側彎症学会 日本脊椎インストゥルメンテーション学会 中部日本整形外科災害外科学会
山口良大	整形一般(整形救 急外傷、脊椎外科)	日本整形外科学会	整形外科専門医	日本整形外科学会 日本救急医学会 日本骨折治療学会 日本脊椎脊髄病学会
日比野卓哉	整形一般 外傷	日本整形外科学会	整形外科専門医	日本整形外科学会 日本股関節学会 中部日本整形外科災害外科学会

【脳神経外科】

医師名	専門分野	取得資格(学会名)	取得資格(資格名等)	所属学会
澤田元史	脳卒中 脳動脈瘤 脳腫瘍 三叉神経痛、顔面痙 攣に対する機能外科 脳血管内治療	日本脳神経外科学会 日本脳神経外科学会 日本脳卒中学会 日本脳卒中学会 日本脳卒中の外科学会 日本脳神経血管内治療学会 日本脳神経血管内治療学会	脳神経外科専門医 指導医 脳卒中専門医 脳卒中指導医 技術指導医 専門医 指導医	日本脳神経外科学会 日本脳卒中学会 日本脳神経血管内治療学会 日本脳卒中の外科学会 日本癌学会 米国癌学会(AACR) 日本脳神経外科コンgres

長谷川義仁	脳神経外科一般	日本脳神経外科学会	脳神経外科専門医	日本脳神経外科学会 日本脳神経外科コンgres 日本脳卒中学会 日本脊髄外科学会 日本脳神経外科漢方医学会
加納清充	脳神経外科一般 脳血管障害	日本脳神経外科学会 日本脳神経外科学会 日本脳神経血管内治療学会	脳神経外科専門医 指導医 専門医	日本脳神経外科学会 日本脳卒中学会 日本脳卒中の外科学会 日本脳神経外科コンgres 日本脳神経血管内治療学会 日本神経内視鏡学会

【呼吸器外科】

医師名	専門分野	取得資格(学会名)	取得資格(資格名等)	所属学会
春日井敏夫	肺がん 縦隔腫瘍 胸腔鏡手術 ロボット手術	日本外科学会 日本外科学会 日本胸部外科学会 日本呼吸器学会 日本呼吸器学会 呼吸器外科専門医合同委員会 日本呼吸器内視鏡学会 日本呼吸器内視鏡学会 日本がん治療認定医機構 日本緩和医療学会	外科専門医 指導医 認定医 呼吸器専門医 指導医 呼吸器外科専門医 気管支鏡専門医 指導医 がん治療認定医 認定医	日本外科学会 日本胸部外科学会 日本呼吸器外科学会 日本呼吸器学会 日本呼吸器内視鏡学会 日本肺癌学会 日本ロボット外科学会 日本緩和医療学会
丸井 努	肺がん手術 気胸手術 胸腔鏡手術 低侵襲手術	日本外科学会 日本外科学会 呼吸器外科専門医合同委員会 日本呼吸器外科学会 日本呼吸器外科学会 日本がん治療認定医機構	外科専門医 指導医 呼吸器外科専門医 評議員 胸腔鏡安全技術認定医 がん治療認定医	日本外科学会 日本呼吸器外科学会 日本呼吸器内視鏡学会 日本内視鏡学会 日本胸部外科学会 日本肺癌学会 日本ロボット外科学会

【形成外科】

医師名	専門分野	取得資格(学会名)	取得資格(資格名等)	所属学会
北澤 健	形成外科全般 特に眼瞼手術、マイクロサージャリーを応用した切断肢再接着や皮弁術による再建など	日本形成外科学会 日本形成外科学会 日本形成外科学会 日本形成外科学会 日本手外科学会 日本手外科学会 日本乳房オンコプラスチックサージャリー学会	形成外科専門医 指導医 皮膚腫瘍外科分野指導医 再建・マイクロサージャリー分野指導医 手外科専門医 指導医 乳房再建用エキスパンダーおよびインプラント責任医師	日本形成外科学会 日本手外科学会 日本マイクロサージャリー学会 国際形成外科学会 日本乳房オンコプラスチックサージャリー学会

【皮膚科】

医師名	専門分野	取得資格(学会名)	取得資格(資格名等)	所属学会
浅野由祐子	皮膚科一般	日本皮膚科学会	皮膚科専門医	日本皮膚科学会 日本アレルギー学会

【泌尿器科】

医師名	専門分野	取得資格(学会名)	取得資格(資格名等)	所属学会
石田健一郎	ロボット支援手術 腹腔鏡手術 内視鏡手術 前立腺疾患	日本泌尿器科学会 日本泌尿器科学会 日本泌尿器内視鏡・ロボティクス学会 日本泌尿器科学会・日本泌尿器内視鏡学会 日本がん治療認定医機構 日本ロボット外科学会 ICD 制度協議会	泌尿器科専門医 指導医 泌尿器腹腔鏡技術認定医 泌尿器ロボット支援手術プロクター認定医師(膀胱・前立腺) がん治療認定医 Robo-Doc Pilot 認定 国内 A 級 認定 ICD	日本泌尿器科学会 日本泌尿器内視鏡・ロボティクス学会 日本化学療法学会 日本抗加齢医学会 日本ロボット外科学会 日本癌治療学会

【産婦人科】

医師名	専門分野	取得資格(学会名)	取得資格(資格名等)	所属学会
松波和寿	周産期 不妊症 腫瘍 内分泌 腹腔鏡手術	日本産科婦人科学会 日本産科婦人科学会 社会医学系専門医協会 社会医学系専門医協会 日本クリニカルパス学会 日本クリニカルパス学会 日本医療マネジメント学会 岐阜県医師会	産婦人科専門医 産婦人科指導医 社会医学系専門医 社会医学系指導医 パス指導者 評議員 評議員 母体保護法指定医師	日本産科婦人科学会 日本クリニカルパス学会 日本生殖医学会 日本医療マネジメント学会 日本内視鏡学会 日本受精着床学会 日本産婦人科内視鏡学会 日本産婦人科医会 日本内分泌学会 日本外科内視鏡学会 日本不妊学会
今井篤志	生殖内分泌 婦人科癌手術	日本産科婦人科学会 日本産科婦人科学会 日本婦人科腫瘍学会 日本婦人科腫瘍学会 日本生殖医学会 日本内分泌学会 日本内分泌学会 岐阜県医師会	産婦人科専門医 産婦人科指導医 婦人科腫瘍専門医 婦人科腫瘍指導医 生殖医療専門医 内分泌代謝科(産婦人科)専門医 内分泌代謝科指導医 母体保護法指定医師	日本産科婦人科学会 日本婦人科腫瘍学会 日本内分泌学会 日本生殖医学会
川鱒市郎	周産期 画像診断 胎児診断治療	日本産科婦人科学会 岐阜県医師会	産婦人科専門医 母体保護法指定医師	日本産科婦人科学会 日本周産期新生児学会
高木 博	産婦人科全般 腔式・腹腔鏡手術 骨盤臓器脱手術	日本産科婦人科学会 岐阜県医師会	産婦人科専門医 母体保護法指定医師	日本産科婦人科学会 日本女性骨盤底医学会 日本産婦人科手術学会 日本骨盤臓器脱手術学会
市古 哲	産婦人科全般 婦人科がん手術	日本産科婦人科学会 日本産科婦人科学会 岐阜県医師会	産婦人科専門医 産婦人科指導医 母体保護法指定医師	日本産科婦人科学会

【眼科】

医師名	専門分野	取得資格(学会名)	取得資格(資格名等)	所属学会
末森晋典	網膜硝子体手術 抗 VEGF 薬治療 眼形成手術 白内障手術	日本眼科学会	眼科専門医	日本眼科学会 日本網膜硝子体学会 日本眼科手術学会

【耳鼻咽喉科】

医師名	専門分野	取得資格(学会名)	取得資格(資格名等)	所属学会
永井裕之	耳鼻咽喉科一般	日本耳鼻咽喉科学会 日本耳鼻咽喉科学会	耳鼻咽喉科専門医 補聴器相談医	日本耳鼻咽喉科学会

【麻酔科】

医師名	専門分野	取得資格(学会名)	取得資格(資格名等)	所属学会
江崎善保	麻酔全般 慢性疼痛のコントロール	日本麻酔科学会 日本麻酔科学会 日本麻酔科学会 厚生労働省 日本周術期経食道心エコー認定委員会	麻酔科認定医 専門医 指導医 麻酔科標榜医 認定医	日本麻酔科学会 日本ペインクリニック学会 日本集中治療医学会
橋本慎介	周術期の全身管理 成人の心臓麻酔	日本麻酔科学会 日本麻酔科学会 日本麻酔科学会 厚生労働省	麻酔科認定医 専門医 指導医 麻酔科標榜医	日本麻酔科学会 日本臨床麻酔学会 日本集中治療医学会
小島明子	麻酔全般	日本麻酔科学会 日本麻酔科学会 日本麻酔科学会 日本集中治療医学会 厚生労働省	麻酔科認定医 専門医 指導医 集中治療専門医 麻酔科標榜医	日本麻酔科学会 日本集中治療医学会
田中亜季	麻酔全般	日本麻酔科学会 日本麻酔科学会 日本麻酔科学会 日本集中治療医学会 厚生労働省	麻酔科認定医 専門医 指導医 集中治療専門医 麻酔科標榜医	日本麻酔科学会 日本集中治療医学会 日本緩和医療学会
三上大介	周術期の全身管理 成人の心臓麻酔	日本麻酔科学会 日本麻酔科学会 日本麻酔科学会 厚生労働省 日本医師会	麻酔科認定医 専門医 指導医 麻酔科標榜医 認定産業医	日本麻酔科学会

【リハビリテーション科】

医師名	専門分野	取得資格(学会名)	取得資格(資格名等)	所属学会
松波紀行	ペインクリニック 麻酔管理 リハビリ全般 肥満診療 スポーツ医学全般	日本ペインクリニック学会 日本麻酔科学会 日本麻酔科学会 日本麻酔科学会 厚生労働省 日本慢性疼痛学会 日本自己血輸血学会、日 本輸血・細胞治療学会 日本自己血輸血学会、日 本輸血・細胞治療学会 日本スポーツ協会 日本医師会 日本医師会	ペインクリニック専門医 麻酔科認定医 専門医 指導医 麻酔科標榜医 慢性疼痛専門医 細胞治療認定管理師 学会認定・自己血輸血責 任医師 公認スポーツドクター 認定健康スポーツ医 認定産業医	日本ペインクリニック学会 日本麻酔科学会 日本リハビリテーション医学会 日本肥満学会 日本輸血細胞治療学会

【メンタルケア科(精神科)】

医師名	専門分野	取得資格(学会名)	取得資格(資格名等)	所属学会
小島久典	精神科一般	日本精神神経学会 日本精神神経学会 厚生労働省	精神科専門医 精神科専門医制度指導医 精神保健指定医	日本精神神経学会

【救急総合診療科】

医師名	専門分野	取得資格(学会名)	取得資格(資格名等)	所属学会
八十川雄図	心肺蘇生 脳卒中 災害医療	日本救急医学会 日本救急医学会 日本脳神経外科学会 厚生労働省 全日本病院協会 Japan Clinical Simulation Organization American Heart Association American Heart Association 日本母体救命システム普 及協議会 岐阜県危機管理部消防課	救急科専門医 ICLS・BLS コースディレクター 脳神経外科専門医 統括 DMAT AMAT 隊員 ISLS 認定ディレクター ACLSリードインストラクター BLSリードインストラクター J-CIMELS ベーシックコ ース・インストラクター 岐阜地域メディカルコ ントロール協議会委員 (副委員長)	日本救急医学会 日本脳神経外科学会 日本脳神経外科コンgres 日本臨床救急医学会 日本災害医学会 日本集中治療医学会

白井知佐子	救急	日本救急医学会	救急科専門医	日本救急医学会 日本臨床救急医学会
-------	----	---------	--------	----------------------

【歯科口腔外科】

医師名	専門分野	取得資格(学会名)	取得資格(資格名等)	所属学会
松原 誠	口腔外科全般	日本口腔外科学会 日本口腔外科学会 日本口腔外科学会 日本口腔科学会 日本口腔科学会 日本有病者歯科医療学会 日本有病者歯科医療学会 日本障害者歯科学会 日本障害者歯科学会 日本障害者歯科学会 日本臨床細胞学会 日本臨床細胞学会 ICD 制度協議会	口腔外科認定医 専門医 指導医 口腔科認定医 指導医 有病者歯科医療認定医 専門医 認定医 障害者歯科専門医 指導医 細胞診専門歯科医 教育研修指導医 認定 ICD	日本口腔外科学会 日本口腔科学会 日本有病者歯科医療学会 日本障害者歯科学会 日本臨床細胞学会 日本頭頸部癌学会 日本インプラント学会

【病理診断科】

医師名	専門分野	取得資格(学会名)	取得資格(資格名等)	所属学会
池田庸子	外科病理 人体病理	日本病理学会 日本病理学会 日本臨床細胞学会 日本臨床細胞学会	病理専門医 病理専門医研修指導医 細胞診専門医 教育研修指導医	日本病理学会 日本臨床細胞学会 日本臨床検査医学会 日本神経病理学会 日本癌学会 日本消化器内視鏡学会 日本乳癌学会 日本消化器病学会 日本内分泌学会 日本肺癌学会 日本呼吸器内視鏡学会 日本脳腫瘍病理学会
川島啓佑	人体病理	日本病理学会 日本病理学会 日本臨床細胞学会	病理専門医 分子病理専門医 細胞診専門医	日本病理学会 日本臨床細胞学会

【放射線診断科】

医師名	専門分野	取得資格(学会名)	取得資格(資格名等)	所属学会
伊原 昇	画像下治療(インターベンショナルラジオロジー、IVR)	日本専門医機構 日本医学放射線学会 日本医学放射線学会 日本インターベンショナルラジオロジー学会 日本インターベンショナルラジオロジー学会 日本核医学会 厚生労働省	放射線科専門医 放射線診断専門医 研修指導者 IVR 専門医 指導医 PET 核医学認定医 臨床研修指導医	日本医学放射線学会 日本核医学会 日本インターベンショナルラジオロジー学会 日本オートプシーイメージング学会
福田千春	画像診断全般	日本専門医機構 日本医学放射線学会 日本医学放射線学会 日本乳がん検診精度管理中央機構	放射線科専門医 放射線診断専門医 研修指導者 検診マンモグラフィ読影認定医師	日本医学放射線学会
竹田 太郎	画像診断全般	日本医学放射線学会 日本医学放射線学会	放射線科専門医 放射線診断専門医	日本医学放射線学会 北米放射線学会 The American Roentgen Ray Society 日本腹部放射線学会
高杉美絵子	画像診断全般	日本専門医機構 日本医学放射線学会 日本乳がん検診精度管理中央機構	放射線科専門医 放射線診断専門医 検診マンモグラフィ読影認定医師	日本医学放射線学会

【放射線治療科】

医師名	専門分野	取得資格(学会名)	取得資格(資格名等)	所属学会
林 昌秀	放射線治療全般	日本医学放射線学会 日本医学放射線学会 日本医学放射線学会 日本がん治療認定機構 厚生労働省	放射線科専門医 放射線治療専門医 研修指導者 がん治療認定医 臨床研修指導医	日本医学放射線学会 日本放射線腫瘍学会 日本癌治療学会 日本放射線外科学会

【回復期リハビリテーション病棟】

医師名	専門分野	取得資格(学会名)	取得資格(資格名等)	所属学会
野々村諭香	リハビリテーション科一般	日本リハビリテーション医学会 日本リハビリテーション医学会 日本整形外科学会 日本整形外科学会 日本整形外科学会 日本医師会	認定医 リハビリテーション科専門医 整形外科専門医 スポーツ医 運動器リハビリテーション医 認定産業医	日本リハビリテーション医学会 日本整形外科学会 日本臨床栄養代謝学会

【中央検査センター】

医師名	専門分野	取得資格(学会名)	取得資格(資格名等)	所属学会
安田圭吾	糖尿病 内分泌代謝	日本内科学会 日本内科学会 日本内分泌学会 日本内分泌学会 日本内分泌学会 日本糖尿病学会 日本糖尿病学会 日本糖尿病学会 日本臨床検査医学会 日本ステロイドホルモン学会	認定内科医 名誉会員 内分泌代謝科(内科)専門医 内分泌代謝科(内科)指導医 功労評議員 糖尿病専門医 研修指導医 功労評議員 臨床検査管理医 名誉会員	日本内科学会 日本内分泌学会 日本糖尿病学会 日本ステロイドホルモン学会

【まつなみ健康増進クリニック】

医師名	専門分野	取得資格(学会名)	取得資格(資格名等)	所属学会
花立史香	乳腺外科	日本外科学会 日本外科学会 日本外科学会 日本乳癌学会 日本がん治療認定医機構 日本乳がん検診精度管理中央機構	認定医 外科専門医 指導医 乳腺専門医 がん治療認定医 検診マンモグラフィ読影認定医	日本外科学会 日本臨床腫瘍学会 日本乳癌学会 センチネルリンパ節研究会

【人間ドック・健診センター】

医師名	専門分野	取得資格(学会名)	取得資格(資格名等)	所属学会
林 慎	内分泌・代謝学 (糖尿病・高脂血症)	日本内科学会 日本内科学会 日本糖尿病学会 日本糖尿病学会 日本糖尿病学会 日本病態栄養学会 日本病態栄養学会 日本病態栄養学会 日本病態栄養学会 日本人間ドック学会 日本人間ドック学会 日本人間ドック学会 日本人間ドック学会 日本人間ドック学会 日本肥満学会 日本医師会	認定内科医 指導医 専門医 研修指導医 評議員 病態栄養専門医 指導医 NST コーディネーター 評議員 人間ドック認定医 専門医 指導医 評議員 人間ドック健診情報管理指導士 肥満症特例指導医 認定産業医	日本内科学会 日本糖尿病学会 日本病態栄養学会 日本人間ドック学会 日本総合健診医学会 日本肥満学会 日本内分泌学会 日本静脈経腸栄養学会

【介護老人保健施設】

医師名	専門分野	取得資格(学会名)	取得資格(資格名等)	所属学会
平山宏史	脳血管障害の リハビリテーション (脳卒中)	日本リハビリテーション医学会 日本脳神経外科学会 日本医師会	認定臨床医 脳神経外科専門医 認定産業医	日本脳神経外科学会 日本リハビリテーション医学会 日本脳神経外科コンgres
岩井知彦	脳卒中			日本脳神経外科学会 日本脳卒中学会

2023年度機器投資実績（主たるもの）

【機器一覧】

<p>機器備品名：Holoeyes VS とヘッドセット 製造業者名：ホロアイズ株式会社 購入業者：株式会社メディセオ</p>
<p>機器備品名：内視鏡用光源（Aladuck405） 製造業者名：SBI ファーマ株式会社 購入業者：株式会社三輪器械</p>
<p>機器備品名：心エコー Vivid E95 Ultra Edition（リース） 製造業者名：GE ヘルスケア・ジャパン株式会社 購入業者：株式会社フェニックス・株式会社ジェイマックシステム</p>
<p>機器備品名：経腸栄養ポンプ 15 台 製造業者名：コヴィディエンジャパン株式会社 購入業者：株式会社八神製作所</p>
<p>機器備品名：セントラルモニタ 2 台更新 WEP-1450 製造業者名：日本光電工業株式会社 購入業者：CTM 株式会社</p>
<p>機器備品名：FSV セントラルモニタ更新 15952 製造業者名：アトムメディカル株式会社 購入業者：井上精機株式会社</p>
<p>機器備品名：超音波融合画像診断システム BioJet 製造業者名：タカイ医科工業株式会社 購入業者：株式会社三輪器械</p>
<p>機器備品名：超音波画像診断装置購入 ARIETTA650 DICOM 接続 製造業者名：富士フイルム株式会社 購入業者：フクダ電子株式会社・株式会社ジェイマックシステム</p>
<p>機器備品名：スリットランプ・ハイビジョンカメラ・スライディングテーブル 2 セット（リース） 製造業者名：カールツァイス株式会社・株式会社イナミ 購入業者：株式会社リイツメディカル</p>
<p>機器備品名：CCR チタニウムセット 製造業者名：ビー・ブラウンエースクラップ株式会社 購入業者：株式会社八神製作所</p>
<p>機器備品名：4K3D 胸腔鏡カメラシステム 1 式（リース） 製造業者名：カールストルツ社 購入業者：CTM 株式会社</p>
<p>機器備品名：スペキュラーマイクロスコープ 標準セット（角膜内皮細胞撮影装置） 製造業者名：株式会社コーナンメディカル 購入業者：株式会社リイツメディカル</p>

機器備品名：VerifyNow System PRU 00086000 製造業者名：アイ・エル・ジャパン株式会社 購入業者：井上精機株式会社
機器備品名：イエローレーザー光凝固装置 PASCAL Synthesis Yellow 型 製造業者名：株式会社トプコン 購入業者：株式会社リイツメディカル
機器備品名：da Vinci Xi (リース) 製造業者名：インテュイティブサージカル合同会社 購入業者：インテュイティブサージカル合同会社
機器備品名：心臓運動負荷モニタリングシステム (補助金) 製造業者名：フクダ電子株式会社 購入業者：フクダ電子株式会社
機器備品名：全自動感受性システム BD フェニックス M50 (補助金) 製造業者名：日本ベクトン・ディッキンソン株式会社 購入業者：株式会社スズケン
機器備品名：医用テレメータ (受信 8 人仕様) 2 台更新 WEP-1450 製造業者名：日本光電工業株式会社 購入業者：CTM 株式会社
機器備品名：FACSLyric フローサイトメーター 2 レーザー 6 カラータイプ (補助金) 製造業者名：日本ベクトン・ディッキンソン株式会社 購入業者：株式会社スズケン
機器備品名：体外受精用クリーンベンチ VSF-1601 (補助金) 製造業者名：株式会社日本医化器械製作所 購入業者：株式会社八神製作所
機器備品名：Geri タイムプラスインキュベーター GERI-INS01 (補助金) 製造業者名：株式会社ナカメディカル 購入業者：株式会社八神製作所
機器備品名：ベッドサイドモニタ×8 輸液ポンプ×10 小型シリンジポンプ×2 シリンジポンプ×23(補助金) 製造業者名：株式会社フィリップス・テルモ株式会社 購入業者：株式会社八神・フクダ電子株式会社・CTM 株式会社
機器備品名：ベッドサイドモニタ×2 MX750 (補助金) 製造業者名：株式会社フィリップス 購入業者：フクダ電子株式会社
機器備品名：顎変形症手術器具一式 製造業者名：グンゼ株式会社 購入業者：八神製作所

松波総合病院
(SOUTH WING:南館) 介護老人保健施設

松波総合病院(NORTH WING:北館)



松波総合病院
(EAST WING:東館)
まつなみ健康増進クリニック

まつなみリサーチパーク 立体駐車場

生活管理や育児に助言

松波総合病院 看護部が健康相談会



来場者の相談に乗る看護師ら＝笠松町田代、松波総合病院

笠松町田代の松波総合病院で、12日の看護の日になんだイベントが行われ、看護師らスタッフが健康相談や体験会を通してナースの仕事を紹介した。

毎年、同病院看護部が看護の日の付近でイベントを行っている。

メインの相談会では看護師をはじめ、助産師や薬剤師、栄養士らが自宅療養や生活の管理、育児や薬の飲み方をテーマに来場者にアドバイスを送っていた。看護師の制服や医師の白衣を着て写真撮影ができるコーナーでは、子どもらが記念撮影を楽しんでいた。

バルーンアートやお菓子釣り、キッチンカーの出店もあり、患者や家族連れでにぎわった。(三輪真大)

岐阜新聞 23.5.24

疾患の性質知る／予防頑張りすぎない

長寿と健康考える
岐阜でフォーラム

長寿社会と健康をテーマとした講演会「健康フォーラム」が二十七日、岐阜市橋本町のじゅうろくプラザで開かれ、約百人が参加した。

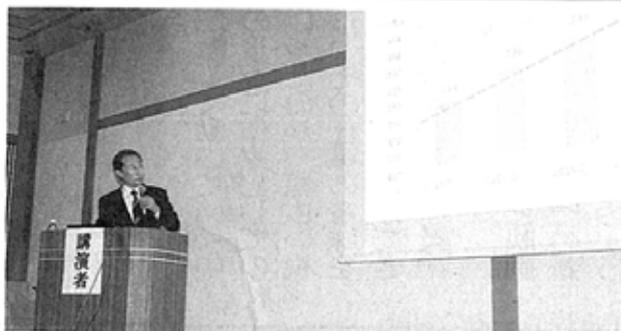
同市の社会政策課題研究所の江崎禎英所長と、岐阜大の吉田和弘学長が登壇。「人生百年時代」ともいわれる長寿社会で健康的に過ごす方法や、地域住民の健康増進に向けた岐阜大の取り組みがテーマとなった。

江崎所長は、高齢者らが健康的に生きるには疾患の性質を知ることや予防を頑

張りすぎないことだと説明。「その人らしく生きられる活動が大事」と呼びかけた。一例として、重度認

知症の高齢者が普親しんでいた将棋を指したところ、問題なく対局でき徐々に症状が和らいだと紹介した。

一般社団法人健康科学リソースセンター(大野町)が主催し、松波総合病院(笠松町)などが共催した。(都沙羅)



長寿社会の健康をテーマに講演する江崎所長＝岐阜市橋本町で

中日新聞 23.5.28

岐阜市でフォーラム

健康と岐阜の未来語る

岐阜大の吉田学長ら講演

「適切な治療法選択を」

健康をテーマにしたフォーラムが、岐阜市橋本町のじゅうろくプラザで開かれ、岐阜大の吉田和弘学長と社会政策課題研究所（同市）の江崎道英所長が講演した。

医師や医学研究者らでつ



講演者

「岐阜大学の目指す未来の健康」をテーマに講演する吉田和弘学長＝岐阜市橋本町、じゅうろくプラザ



剤治療などがある中で、個々で適切な治療法を選択するよう呼びかけた。また、岐阜大が力を入れている糖鎖研究にも触れて「これまで解析できなかった病気の原因が分かるかもしれない。若者と高齢者が幸せに暮らせる社会をつつづけていきたい」と話した。

江崎所長は、65歳以上の社会活動で、働くことやコミュニケーションを持つことの重要性を強調し、人との関わりを大切にしながら「食べる、話す、笑う」ことが免疫向上につながると指摘した。

岐阜新聞 23.6.1

準優勝を報告した田中主将（左から4人目）らメンバーと松井監督ら＝笠松町役場で



松波病院柔道部が
全日本実業で準V

男子3部、来年は昇格

笠松町田代の松波総合病院柔道部が今月三日に三重県で開かれた「全日本実業柔道団体対抗大会」の男子三部で準優勝した。二〇二〇年に創部し、この大会は二回目の挑戦で初入賞。部員らが二十一日、同町役場に報告に訪れた。

五人制団体戦のトーナメント方式で、五十七チームが出場した。体重は無差別のため軽量級が多い松波総合病院には不利だったが、

一二〇キを超える大柄な選手との対戦でも、積極的な試合を展開。引き分けや反則勝ちに持ち込んで流れをつくり、勝ち上がった。

松井陽子監督（三）は「各選手が自分の仕事を果たし、チーム力を発揮できた」と古田聖人町長に報告。来年は二部昇格が決まっており、「より厳しい戦いになるが、上位に食い込みたい」と話した。

八月には個人戦での全国大会もある。田中大地主将（三）は「個人でも入賞したい」と意気込んだ。

（川添智史）

中日新聞 23.6.22

全日本実業柔道3部準優勝

松波病院選手ら喜び

笠松町役場

今月3日に三重県であった第73回全日本実業柔道団



全日本実業柔道団体対抗大会の3部準優勝を報告に訪れた選手ら＝笠松町役場

体対抗大会で3部準優勝と躍進した松波総合病院（笠松町田代）の柔道部の監督、選手らが21日、町役場を訪れ、大会の活躍を振り返った。

同部は創部4年目。初挑戦の前回大会はレギュラー選手の体調不良で初戦敗退したが、今大会ではレギュラーがそろい、決勝進出と躍進した。入賞で来年は2部に昇格する。

主将の田中大地さん、中堅でエースの山口良太さんから選手、総監督の松波英寿

さんらが訪問。田中さんは「チーム全員の方で勝ち上がった。次回大会では2部入賞を目指す」と意気込みを語った。自らも有段者という松波さんも「来年の活躍も期待している」と喜び、

古田聖人町長は「笠松、岐阜県の誇りでもある」と賛辞を送った。柔道部は5月にあった第59回県体重別選手権でも4階級で5人が入賞した。

（三輪真大）

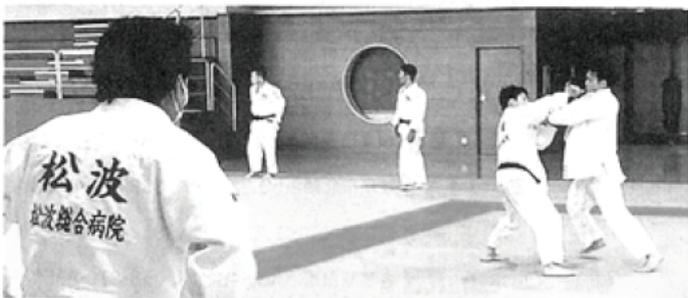
岐阜新聞 23.6.23

特別国体へ稽古に熱

柔道成年男子 県勢が強化練習

10月に鹿児島県で開かれる特別国体に向けた県勢の柔道成年男子の強化練習会が大垣市武道館で開かれている。8月の東海ブロック大会を勝ち抜き、本大会出場を目指す。県柔道協会の主導で、県警、岐阜刑務所、松波総合病院の各柔道部が初めて一堂に会して稽古を行った。14日までの計6日間で汗を流している。出場選手の選考会も兼ねる。特別国体は体重別の5人による団体戦で競う。昨年の栃木国体で成年男子の岐阜は3回戦で東京に敗れている。

強化練習会の稽古に励む選手ら
 大垣市武道館



岐阜新聞 23.7.8

糖尿病は治る？ 適切な減量で緩解可能性



循環器内科医 上野勝己氏



松波総合病院 循環器内科センター長 (引揚町松波駅前田代)

「糖尿病は治る？」という質問は、最近よく聞かれます。糖尿病は、かつては「不治の病」として知られていましたが、近年の研究で、適切な減量によって、糖尿病が緩解する可能性が明らかになりました。これは、2型糖尿病に限らず、1型糖尿病でも、適切な減量によって、糖尿病が緩解する可能性があります。

糖尿病は、血糖値が高くなる病気です。血糖値が高くなることで、血管や神経にダメージを与え、さまざまな合併症を引き起こす可能性があります。糖尿病は、生活習慣病の一つとして知られていますが、適切な減量によって、糖尿病が緩解する可能性があります。

■ 糖尿病の診断基準

※5.6～5.9%は要注意

	空腹時血糖	随時血糖 (食後血糖)	HbA1C
正常者	110mg/dl未満	140mg/dl未満	6.0%未満
境界型	110～125mg/dl	140～199mg/dl	6.0～6.4%
糖尿病	126mg/dl以上	200mg/dl以上	6.5%以上

HbA1Cは過去1～2か月の平均の血糖値

糖尿病の診断基準は、血糖値やHbA1Cによって行われます。血糖値は、空腹時血糖と随時血糖（食後血糖）によって測定されます。HbA1Cは、過去1～2か月の平均の血糖値を示します。

糖尿病の診断基準は、血糖値やHbA1Cによって行われます。血糖値は、空腹時血糖と随時血糖（食後血糖）によって測定されます。HbA1Cは、過去1～2か月の平均の血糖値を示します。

近年で体脂肪率(BMI)が25以上の肥満者が、糖尿病のリスクが高まることが明らかになりました。肥満は、糖尿病のリスクを高めます。適切な減量によって、糖尿病のリスクを減らすことができます。

肥満は、糖尿病のリスクを高めます。適切な減量によって、糖尿病のリスクを減らすことができます。適切な減量によって、糖尿病のリスクを減らすことができます。

岐阜新聞 23.7.20

がん悪液質



産婦人科医 今井篤志氏



松波総合病院 産婦人科センター長 (引揚町松波駅前田代)

筋肉を分解 生存率低下



がん悪液質は、がん細胞が分泌する因子によって引き起こされます。この因子は、筋肉を分解し、体重を減少させ、身体活動を低下させます。結果として、生存率が低下します。

がん悪液質は、がん細胞が分泌する因子によって引き起こされます。この因子は、筋肉を分解し、体重を減少させ、身体活動を低下させます。結果として、生存率が低下します。

岐阜新聞 23.8.10

自宅で元気に生活

県老人保健施設協会
副会長
松波英寿氏に聞く



「お年寄りの健康には適切な運動、適切な食事が大切」と語る松波英寿さん。一宮高齢者福祉センター、松波英寿氏撮影

「お年寄りの健康には適切な運動、適切な食事が大切」と語る松波英寿さん。一宮高齢者福祉センター、松波英寿氏撮影

「お年寄りの健康には適切な運動、適切な食事が大切」と語る松波英寿さん。一宮高齢者福祉センター、松波英寿氏撮影

運動と食事適切に

→の節から続く



「お年寄りの健康には適切な運動、適切な食事が大切」と語る松波英寿さん。一宮高齢者福祉センター、松波英寿氏撮影

「お年寄りの健康には適切な運動、適切な食事が大切」と語る松波英寿さん。一宮高齢者福祉センター、松波英寿氏撮影



「お年寄りの健康には適切な運動、適切な食事が大切」と語る松波英寿さん。一宮高齢者福祉センター、松波英寿氏撮影

7面に続く

岐阜新聞 23.9.18

杉浦松波 最高峰に挑む

柔道男子66kg級の杉浦冬唯（松波総合病院）が、パリ五輪代表第1次選考会を兼ねた講道館杯全日本体重別選手権（11月・千葉）に向けて稽古に汗を流している。8月の全日本実業個人選手権で3位に入り、国内最高峰の同杯への出場権を獲得、「目標は優勝のみ」と自身初のタイトルを渴望する。

講道館杯柔道出場 仕事と両立、必勝誓う



中、仕事と武道を両立しながら腕を磨く。柔道家としては遠吠えだ。頭角を現したのは愛知大4年時で、全日本学生体重別選手権で準優勝に輝いた。高校時代は全国総体の出場経験もなく、「人生で全国大会の上位に残れたのは初めて」と振り返る。昨年の全日本実業個人選手権では準優勝と、以降安定した成績を残している。

目下の目標は「日本一」。20年の競技人生で一度も経験はなく、8月の大会も延長戦までもつれた準決勝で技ありを奪われて敗れた。近くで遠い残り1、2勝に「試合の中で攻めの形のパターンを増やすこと」と課題を挙げる。思い通りにいかない展開の中でも、積極的に次の一手を仕掛ける姿勢を磨く。

勤務を終えて稽古に汗を流す杉浦冬唯（右）＝松波総合病院

岐阜新聞 23.9.19

松波総合病院へ車寄贈 光製作所が患者送迎用に

地域の福祉に役立ててもらおうと、精密機械加工の光製作所(笠松町中野)は、

同町田代の松波総合病院に患者送迎用の福祉車両1台を寄贈し、同病院で贈呈式



寄贈された福祉車両は車椅子を乗せやすい構造で、同社の故松原登士弘名誉会長が愛用していた。松原修司社長は「松波総合病院で活用してもらうことは地域の医療福祉に大変意義のあること」と話した。

同病院の松波英寿理事長は「車椅子の人も楽に乗せることができるので、連携している病院間での患者の送迎に活用したい」と話した。(榊原あやな)

松原修司社長(右)から鍵のレプリカを受け取る松波英寿理事長。笠松町田代、松波総合病院

岐阜新聞 23.9.27

ひろば

▷岐阜 早◁

柔道



○…第73回「全日本実業柔道団体対抗大会」の男子第3部で、藤井光一さん(24)＝笠松町、男子部ニュー・リーダー、写真＝が所属する「松波総合病院」が準優勝に輝いた(本年6月)。

○…「池田先生の指導を胸に『負けじ魂』を燃やして勝負に挑みました」と藤井さん。今大会に大将として出場し、創価大学柔道部時代に鍛えた寝技で勝利を収めるなどチームに貢献した。

○…一日の目標を明確にする朝晩の勤行・唱題を原動力に、医療事務の仕事に励みながら厳しいトレーニングを重ねている。また柔道の「自他共栄」の精神を大切に、チームメイトと共に成長したいと、練習後の意見交換を積極的に行っている。

○…6月に男子部大学校6期として入学。仏法対話や教学研さんに挑戦し、心を磨いている。「個人戦での『日本一』を目指して、信心根本に努力し続けていきます」と、さらなる高みへ鍛えの汗を流す。(T)

全日本実業団体で準優勝

聖教新聞 23.10.3

羽島郡が初優勝

県民スポーツ大会

柔道



優勝の羽島郡

柔道の第15回県民スポーツ大会はアテナ工業アリーナで行われ、いずれも松波総合病院所属の杉浦冬唯、田中翔太、山口良太、藤井光一、田中大地、尾崎良慶で盛んだ羽島郡

18チームが参加し、トーナメントで争った。羽島郡は初戦の2回戦で多治見市、準々決勝で飛騨市、準決勝で羽島市に、それぞれ1人も負けることなく勝利。決勝は不破郡を3-1で下した。

①羽島郡の不破郡②各務原市、羽島市

岐阜新聞 23.10.4

地震に備え紙カルテ対応確認



けが人の情報を紙カルテに書き込む医師
■笠松町田代の松波総合病院で

笠松・松波総合病院 医師ら90人が訓練

大規模地震に備えた訓練が笠松町の松波総合病院であった。電子カルテが使用できなくなった状況を想定

し、紙カルテでの患者対応などを確認した。

南海トラフを震源とする地震が発生した想定で行

い、医師や看護師ら約90人が参加した。

院内に設けられたテントでは、患者の治療の優先度を決める「トリアージ」を実施。骨折や出血などの大けがをした患者役の人が次々と運び込まれ、けがの程度をもとにリーダー役の医師が「この患者は集中治療室（ICU）へ」などと指示を送っていた。患者の診察には紙カルテを使い、医師たちが氏名や生年月日、痛みの部位や程度などを1人ずつ聞き込んだ。

同院では10年ほど前にカルテを電子化しており、若い職員は紙カルテを使った経験がほとんどないという。訓練を統括した八十八川雄図救急科部長は「読みやすい字で丁寧に書くなどのコツが必要。有事対応の基本を身に付けてもらえれば」と話した。

（尾林太郎）

中日新聞 23.10.17

大地震、迅速にトリアージ



トリアージの訓練に取り組み医師や看護師ら
■笠松町田代、松波総合病院

松波総合病院で災害訓練

笠松町田代の松波総合病院は、大規模地震で大量のけが人が発生したという想定での災害対策訓練を同病院で行い、医師や看護師、スタッフら90人がトリアージの連携や紙カルテの使い方を確認した。

震度7の南海トラフ地震が発生し、多くの傷病者が搬送されるという想定。病院の防災センターにホワイトボードを設置するなどして災害対策本部を設置。ロビーやエントランス、救急部門付近に設けたテントで症状の重さ別に医師らがトリアージを行った。電子カルテが使えなくなることを想定し、紙カルテに患者の症状を書き込んでいた。

救急科部長の八十八川雄図医師は「県境に位置しており、災害発生時は相当数の患者が見込まれる。キャパシティに絶えつるようにはしていきたい。繰り返し訓練を行い、対策マニュアルを周知していくと語った。

（三輪真大）



岐阜新聞 23.10.21

柔道の技で転びにくい体

笠松 五輪金メダリスト井上さんら指導



参加者に受け身の取り方を教える井上さん（手前左）＝笠松町田代の松波総合病院で

シドニー五輪柔道金メダリストの井上康生さんらによる転倒予防教室が6日、笠松町田代の松波総合病院で開かれた。町内外から20

人が参加し、受け身や立ち技の動きを用いた、転びにくい体のつくり方を学んだ。

東京五輪柔道日本代表

（尾林太郎）

「ムドクター」の紙谷武さんが進行役を務め、年齢とともに最も衰えやすくなるのが脚の筋肉だと説明。バランス感覚を身に付けるため、立ち技の一つ「足払い」のように、片足を左右に動かす運動を紹介した。転んだ場合でもけがを小さくできるよう、後ろ受け身も実践した。参加者たちは井上さんから、頭を上げながら背中を丸めるようアドバイスを受けて、後ろに転がる練習を繰り返した。岐阜市の福村善光さん（83）は「私も歩くと脚が疲れるようになっていた。きょう学んだことを日ごろのりハビリでもぜひ取り組みたい」と話した。

教室は、井上さんが理事長を務め、柔道を通じた社会貢献に取り組む認定NPO法人「JUDOS」が開催。井上さんは取材に「皆さんに楽しんでいただけてよかった。日ごろから鍛えて予防につなげてもらえれば」と話した。

中日新聞 23.11.9

メディカルジャパン 入場者数が過去最高

3日間で1万6千人超



講演する松波理事

第7回メディカルジャパンにて開催された。バン東京（医療・介護・薬局Week東京）が10月11日から13日の3日間、岐阜メッセ国際展示場展示ホール（千原市）で開催された。同展覧会は、病院EXPO・クリニックEXPO・O・次世代薬局EXPO・介護＆看護EXPO・感染症EXPOに加え、今年より新設された健康サポートEXPOの6部門で構成され、日本院会はそのうち病院EXPOとクリニックEXPOを共催している。今回は病院設備医療器具、看護用品等、医療に関連した製品やサービスを含む約600社の企業が出展。当会も病院EXPO内のブースにて、「日本病院会」の事業をパネルや動画等で広く周知した。

会場では、展示ブースの他に多数の講演会が開かれた。初日には「次世代に繋ぐ病院経営」の共通テーマのもと、相澤孝夫会長が「2040年を見据えた医療課題と取り組み」について、松波英寿理事・社会医療法人藤西厚生会松波総合病院理事長が「外科系民間病院120年の歩みと今後」住良・医師会・従業員、すべてを幸せに」について、それぞれ基調講演を行った。松波理事は講演のなかで、理想的な病院の統合連携の姿は、各病院がすべての診療科を持つのではなく、呼吸器循環器センター、脳外科センター、役割分担をすることで述べた。また、2日目の12日には特別講演の一つとして、小松本悟顧問・足利赤十字病院名誉院長が「医師主導の病院経営とは」のテーマで講演した。連日、会場では熱心にメモを取る聴衆の姿が数多く見受けられた。なお、各講演の詳細については、後日、日本病院会雑誌（12月号）にて掲載予定。

日本病院会ニュース 23.11.10

柔道



杉浦松波(波)が
男子66キロ級3位

講道館杯

柔道の講道館杯全日本体重別選手権は千葉ポートアリー



3位に入った杉浦冬唯

ナで行われ、県勢は男子66キロ級の杉浦冬唯(松波総合病院)が3位に入った。

杉浦は初戦の2回戦を危なげなく突破すると、3回戦で相田勇司(ALSOK)、準々決勝で木戸清孝(アドウィックス)に一本勝ち。準決勝は全日本連盟B強化指定選手の武岡毅(パーク24)に背負い投げで一本負けした。

◇県高校新人大会岐阜地区予選(岐阜メモリアルセンター)

- 【男子】▽60キロ級 ①小関空夜(県岐阜商) ②林想愛(同) ③田浦千広(岐阜聖徳) ④天野莞楓(岐阜総合)▽66キロ級 ①栗巣野新(岐阜商) ②林侑聖(本巣松陽) ③加藤恭樹(岐阜聖徳) ④水野亮一(岐阜高専)▽73キロ級 ①島田康生(岐阜高専) ②紺谷翔(岐阜農林) ③松井優空(岐阜高専) ④高橋諒真(岐阜農林) ⑤林一穂(同)▽無差別級 ①坂口大河(羽島) ②笹野琉成(岐阜農林) ③高橋和希(岐阜)
- 【女子】▽52キロ級 ①矢島玲菜(県岐阜商) ②鷲見愛子(岐阜農林) ③飯沼友梨(岐阜)▽57キロ級 ①山田奈々(県岐阜商) ②利光桃佳(富谷)▽63キロ級 ①岩崎純乃香(岐阜北) ②高橋諒(岐阜商) ③中山裕那(同) ④岩田時乃(岐阜)

岐阜新聞 23.11.15

全日本柔道連盟強化選手に選出 杉浦さん「五輪へスタート」



活躍を誓う杉浦冬唯さん(左から2人目)ら
=笠松町役場

全日本柔道連盟強化選手に選ばれた松波総合病院所属の杉浦冬唯さん(23)が、

笠松町役場 代表入りへ抱負

笠松町役場を訪れ、古田聖人町長に「五輪代表選出に向けたスタートラインに立

てた」と抱負を語った。
男子A強化に次ぐ男子B強化66キロ級の指定選手の一人に選ばれた。杉浦さんは岐阜市出身。同朋高校、愛知大に進み、昨年4月、同病院に採用された。連盟の強化選手の選考大会に位置付けられる今年11月の講道館杯全日本体重別選手権男子66キロ級で3位入賞した。

柔道部総監督を務める同病院の松波英寿理事長と訪れた杉浦さんは大会での活躍を振り返り、「五輪を目指すスタートラインに立てた。ここからは上がり、2028年のロサンゼルス五輪を目指したい」と声を弾ませた。(三輪真大)

岐阜新聞 23.12.29

深刻な渋滞、救助に支障

能登地震、松波総合病院DMATが帰任

「移動ルートは1本のみ」報告

能登半島地震で被災した石川県輪島市で活動してきた松波総合病院（松波DMAT）の災害派遣医療チーム（DMAT）が5日夕、帰任した。

派遣された同病院のDMATは救急科部長の八川雄四郎、看護部3人、事務担当者1人の計5人。2日午後3時に病院の救急車と乗用車で出発。3、4日、市立輪島病院で、八十川川医師らと連携して、医師は災害対策本部の運営、看護部3人は救急車に乗り、負担を減らすことに重点を置いたという。また、同病院の災害対策本部が機能していない状況で、各部門の連絡、調整、情報の集約のノウハウを伝えることができたという。



災害対策を協議するDMATのメンバーら＝石川県輪島市、市立輪島病院（松波総合病院提供）

5日は、松波実業理事長らが市に出迎え、現地の状況を報告を受けた。八十川医師によると、市立輪島病院に勤務していた看護部が連日の勤務で極度に疲れしており、負担を減らすことに重点を置いたという。また、同病院の災害対策本部が機能していない状況で、各部門の連絡、調整、情報の集約のノウハウを伝えることができたという。

岐阜新聞 24.1.6

「昨年を振り返ると、4月に開設された専門医科棟に迎えて、大規模な設備更新に着手し、期が近づいてくる中、救急科の業務体制を強化しました。また、災害時の対応に際しては、救急科が、救急隊と連携して、救急搬送の体制を整え、全日本救急隊員連盟の救急隊員に協力を要請しました。

昨年4月、救急科の業務体制を整えるため、救急科の業務体制を整え、全日本救急隊員連盟の救急隊員に協力を要請しました。

松波総合病院



院長 松波 和寿氏

地域包括ケアシステムを整備

も病院の取り組みです。アプリを使った患者の受付や、ネットでの検査結果の受け取り、ネットでの検査結果の受け取り、ネットでの検査結果の受け取り...

マニピュレーター手術、オンライン手術、手術や処置だけでなく、自然発生的な手術や処置だけでなく、自然発生的な手術や処置だけでなく...

4月の取り組みは、手術や処置だけでなく、自然発生的な手術や処置だけでなく、自然発生的な手術や処置だけでなく...



概要

〒950-6002 石川県能登郡輪島市185-1
TEL.050-388-0111

1902年/岐阜市加納に松波病院を開設
1933年/松波市に松波総合病院を開設
1988年/南館(SOUTH WING)開設437床
2014年/北館(NORTH WING)開設501床

従業員数 1,423人(令和5年12月)

社会福祉法人 能登厚生会理事長/松波 和寿
松波総合病院 院長/松波 和寿
石川県立総合医療センター 副院長/松波 和寿
石川県立総合医療センター 副院長/松波 和寿

<https://www.matsunami-hsp.or.jp>

岐阜新聞 24.1.1

被災地 過酷な現状を報告

能登地震 石川派遣のDMAT帰任

能登半島地震で被災した石川県輪島市で活動してきた松波総合病院（松波DMAT）の災害派遣医療チーム（DMAT）が5日夕、帰任した。

派遣された同病院のDMATは救急科部長の八川雄四郎、看護部3人、事務担当者1人の計5人。2日午後3時に病院の救急車と乗用車で出発。3、4日、市立輪島病院で、八十川川医師らと連携して、医師は災害対策本部の運営、看護部3人は救急車に乗り、負担を減らすことに重点を置いたという。また、同病院の災害対策本部が機能していない状況で、各部門の連絡、調整、情報の集約のノウハウを伝えることができたという。



松波総合病院「経験を普段の診療にも」

医師の八十川雄四郎さん（左）は、輪島病院で看護部やスタッフの状況、交通機関や物資の確保状況を確認した。また、松波実業理事長らと話し合い、被災地の現状を報告した。

松波総合病院は、能登半島地震で被災した石川県輪島市で活動してきた災害派遣医療チーム（DMAT）が5日夕、帰任した。派遣された同病院のDMATは救急科部長の八川雄四郎、看護部3人、事務担当者1人の計5人。2日午後3時に病院の救急車と乗用車で出発。3、4日、市立輪島病院で、八十川川医師らと連携して、医師は災害対策本部の運営、看護部3人は救急車に乗り、負担を減らすことに重点を置いたという。また、同病院の災害対策本部が機能していない状況で、各部門の連絡、調整、情報の集約のノウハウを伝えることができたという。

中日新聞 24.1.6

心臓病患者の運動療法

有酸素運動で機能改善



循環器内科医
上野勝己氏



松波総合病院心臓病センター長
（羽島郡笠原町）

運動療法が健康を維持する効であることは明らかですが、が狭心症や虚血性心不全などの心臓病患者に適切な運動療法（ランニング、ウォーキング、サイクリング）を勧めると、心臓病のリスクを減らすことが期待されています。2006年にヨーロッパ心臓病学会で発表された、世界中で行われていたランニングやウォーキングの心臓病リスクを減らす効果を示した研究によると、参加者例2万3000人を対象とした報告で、心臓病が26%減少、心動脈硬化が18%減少、再入院が23%減少して、心臓病の突然の低下も不慮死を減少させていると報告されています。

運動は、極めて長時間に高出力を出す運動（ハードランニング）よりも、長時間にわたって低強度の運動（ウォーキングや筋力トレーニング）が利用しやすいため、心臓病患者に勧められています。重要なのは、運動の強度を調整することです。過度の運動は、無酸素運動（ランニング）よりも、有酸素運動（ウォーキングやサイクリング）が好ましいとされています。有酸素運動は、心臓病のリスクを減らす効果を示しています。ランニングやサイクリングなどの有酸素運動は、心臓病のリスクを減らす効果を示しています。

ランニングやサイクリングなどの有酸素運動は、心臓病のリスクを減らす効果を示しています。ランニングやサイクリングなどの有酸素運動は、心臓病のリスクを減らす効果を示しています。



心肺運動負荷試験（CPX）のための呼吸ガス分析装置（左）と自転車エルゴメーター

ランニングやサイクリングなどの有酸素運動は、心臓病のリスクを減らす効果を示しています。ランニングやサイクリングなどの有酸素運動は、心臓病のリスクを減らす効果を示しています。

岐阜新聞 24.1.18

弱った地域医療 崩された

DMAT、異例の長期支援 救命から転院搬送、介護現場まで

DMAT（災害派遣医療チーム）が、被災地の医療支援に異例の長期支援を行っている。救命から転院搬送、介護現場まで、多岐にわたる支援が行われている。

被災地の医療現場は、人手不足や設備不足など、様々な課題を抱えている。DMATは、これらの課題を解決するために、長期にわたって支援を行っている。

DMATの支援は、被災地の医療現場に大きな影響を与えている。救命から介護現場まで、多岐にわたる支援が行われている。

DMATの支援は、被災地の医療現場に大きな影響を与えている。救命から介護現場まで、多岐にわたる支援が行われている。

DMATの支援は、被災地の医療現場に大きな影響を与えている。救命から介護現場まで、多岐にわたる支援が行われている。

DMATの支援は、被災地の医療現場に大きな影響を与えている。救命から介護現場まで、多岐にわたる支援が行われている。

腸内環境と選手コンディショニング研究

松波病院、文科省助成事業に

松波総合病院の付属研究所「なみりサーチパーク」(羽島郡安松町田代)が進める、腸内細菌とアスリートのコンディショニングをテーマにした研究計画が、文科省の2024年度科学研究費助成事業に採択された。同病院柔道部の選手などを対象に、試合前に腸内環境を改善させることがパフォーマンス向上につながるかを検証する。民間病院が採択されるのは県内で初めて。(安井真由子)



腸内細菌とコンディショニングの関係を研究する吉川智美(左)と松波英寿(右)が、羽島郡安松町田代、松波総合病院

民間病院では県内初 病院柔道部対象に検証

体の調子を整え、能力を最大限に発揮できる状態にする「コンディショニング」。近年スポーツ界では技術そのものの習熟に加え、コンディショニングを重視する傾向が高まっている。リサーチパークは20年の創部当初から選手らと関わる中で「同じ練習を行っても、けがの頻度や成果の出やすさに違いがある」とコンディショニングと腸内環境の関わりに着目した。同病院によると、これまでには外科手術後に感染性合併症を発症した患者について、術前の腸内環境が不良な傾向にあったという研究結果がある。今回の研究により、健常時においても腸内環境の改善が重要であ

ることを明らかにする。腸内細菌の視点から、選手それぞれに効果的で効率的なコンディショニング法を確立できるといふ。

文科省の科学研究費助成事業は採択率が約1割と低いことに加え「採択されるほど人が、研究員が多い大学病院での研究」と同病院の松波英寿理事長。リサーチパークは15年に助成対象の研究機関に指定されて以降応募しており、8年目にして念願がかなった。自身も今回の研究に携わる松波理事長は「研究機関としての実績はまだだが、内容が認められた」と喜ぶ。

同病院では25年度、生活習慣病患者らに健康指導を行う疾病予防施設(医療法人社制)の開設を予定している。将来的には今回の研究を、減量が必要な一般人や患者に応用していく考えだ。研究代表者でリサーチパーク研究部の吉川智美部長は「研究を続け、社会に役立つ情報を発信していきたい」と意気込んだ。

岐阜新聞 24.3.10